

**逆NTR！魔法で女体化した**

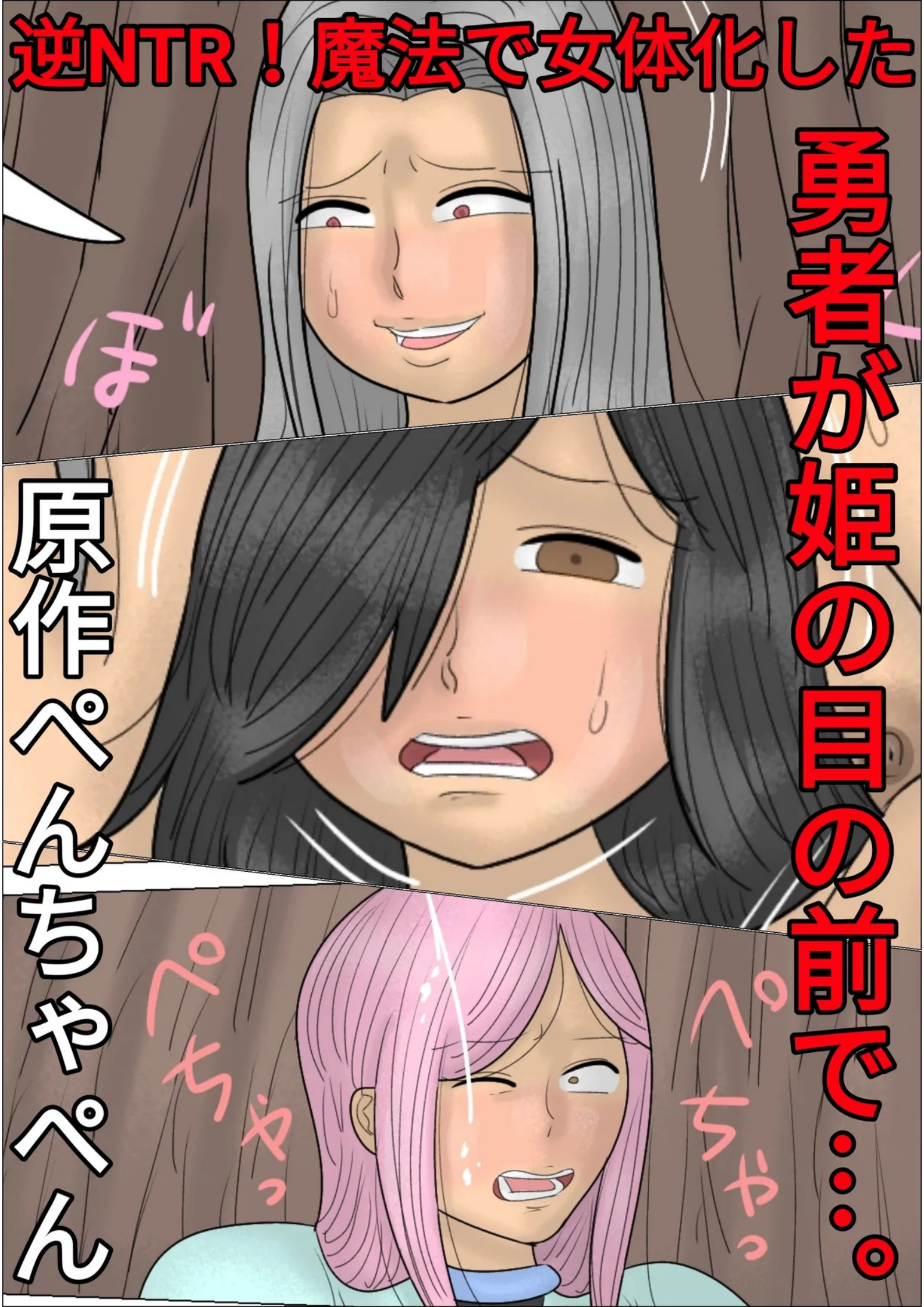
**勇者が姫の目の前で...**

ほい

**原作ぺんちゃんぺん**

ぺんちゃん

ぺんちゃん



姫…アリシア様とは…。  
幼子からの付き合いだった…。

姫…そんなことしたら  
危ないです…。

勇者見習い  
エイト

アバランチャ国  
姫アリシア

エイト…。  
これなんだろうね？

ちよんっ

ガサッ  
サッ  
サッ

エイトいっつも  
剣降ってばかり。  
そんなに楽しいの？

私には、姫を守るという  
使命がありますので。

ハア

ハア


私は…。姫を守るために…。  
毎日…剣術を磨いてきた…。

ブーンッ



え：：姫が：：。  
魔女たちに  
さらわれた…？

ええ：：。魔女たちは  
アバランチヤ国を  
乗っ取るうとしています。



その人質として…。  
アリシア様を…。

助ける…。

姫を…。

何とかして…。

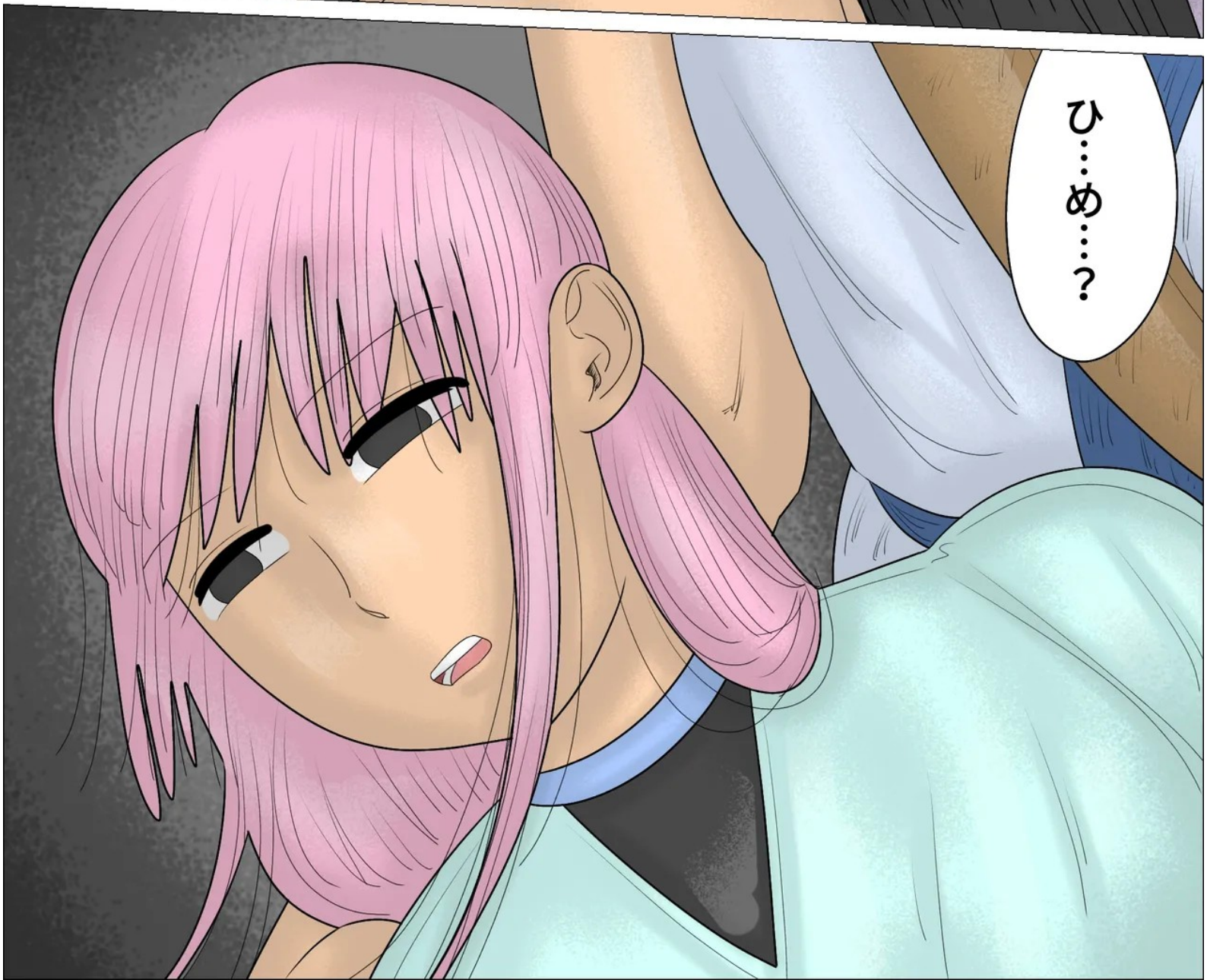
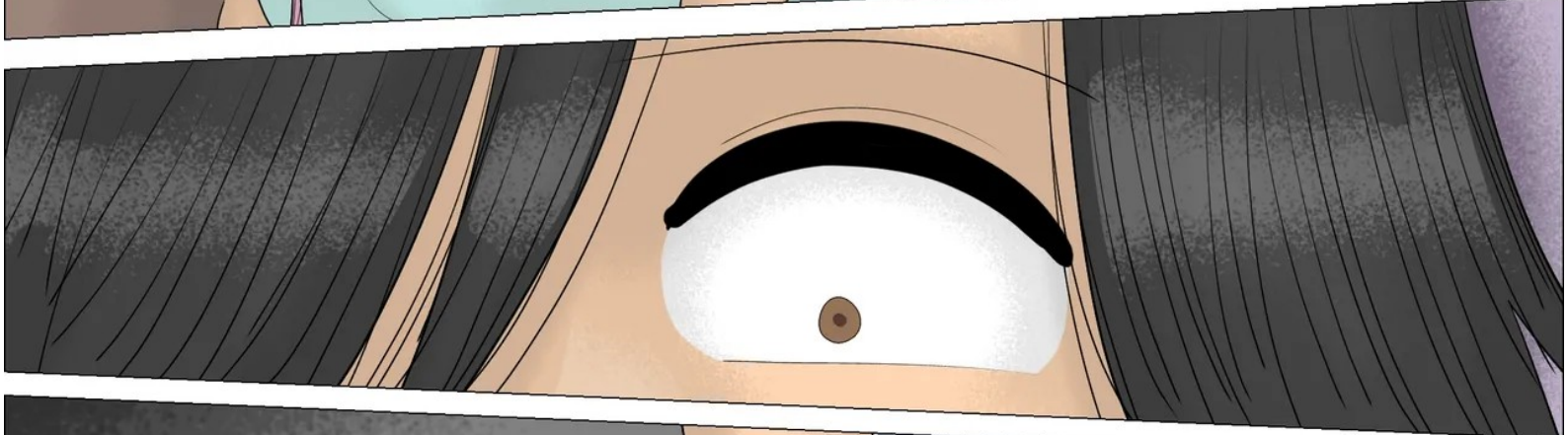
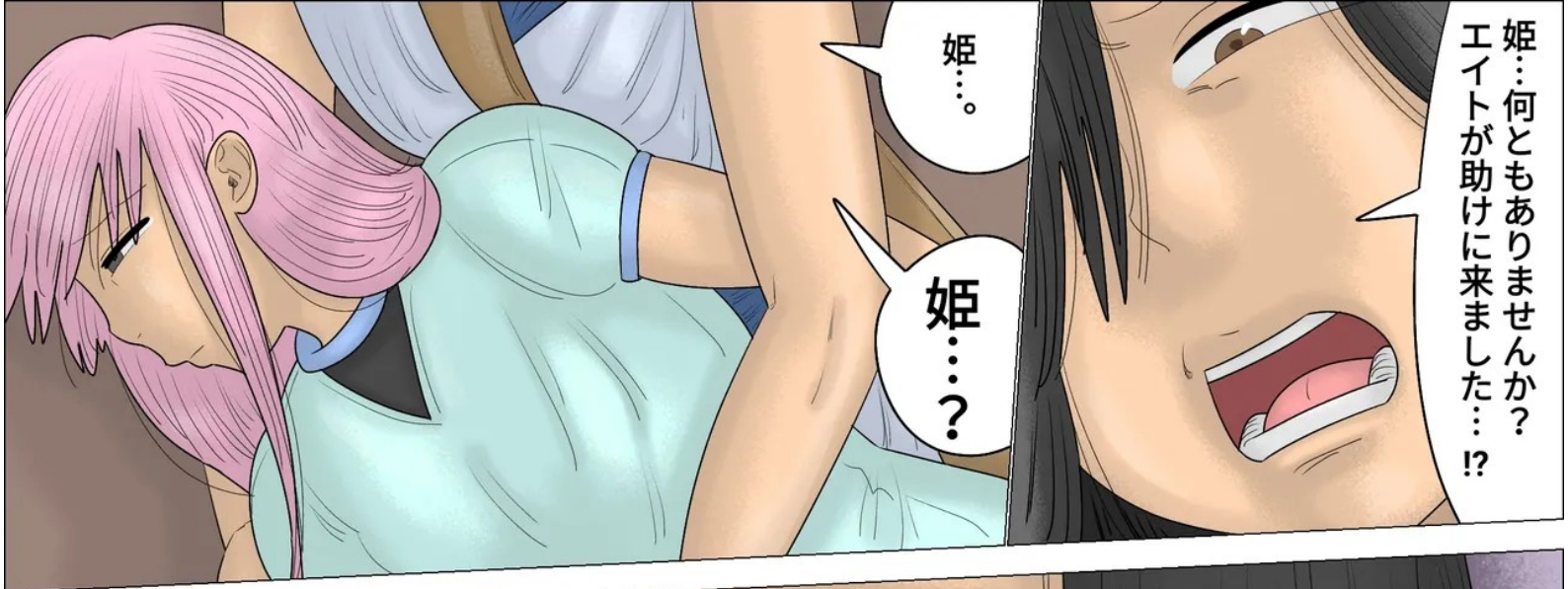
そして…。  
姫が囚われている  
魔王のアジトに…。

たどり着いたの  
だった…。

はあ  
はあ  
はあ  
はあ  
はあ

姫…。

はあ  
あ  
はあ  
あ



アリシア姫の魂は  
抜き取らせて  
いただきましたわ…。

姫にはアバランチヤ国を  
我々の属国にするための  
材料になってもらいます…。

クソ…。  
卑怯者め…。

魔女ガウマガ

フワ〜…

フワ〜…



姫を元に戻せ…。  
しないと、お前を殺す…。

へえ、あなたに  
そんなことが  
できるのかしら？笑

俺は本気だ…。  
剣術を幼い頃から  
磨いてきた…。

一瞬でお前の首を  
はねることが出来る…。

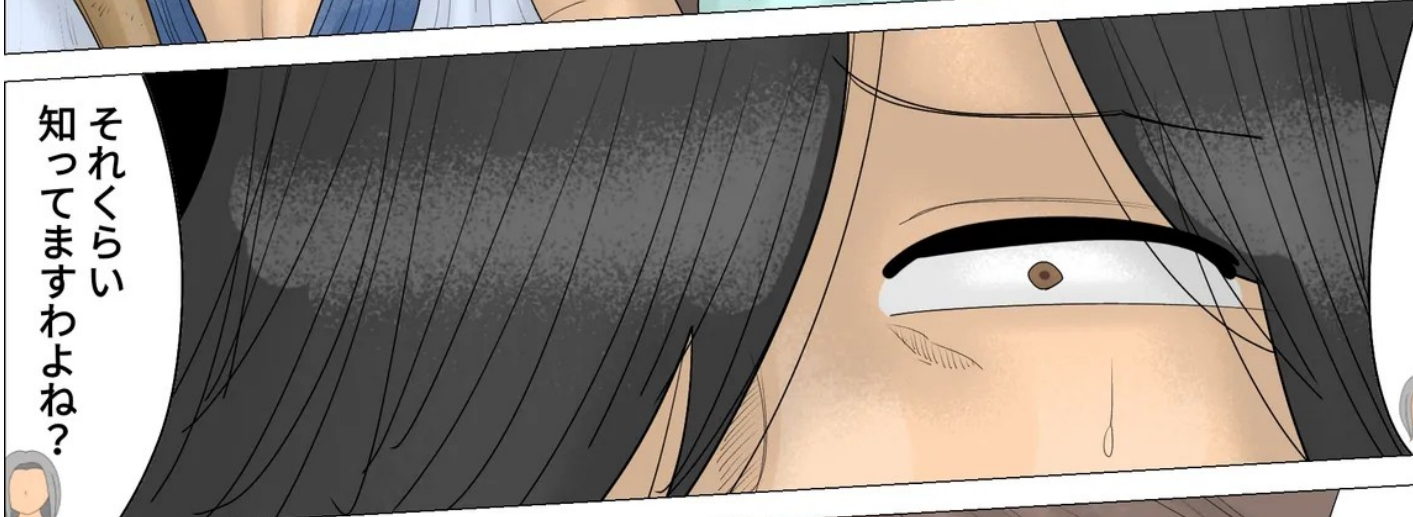
あははっ…。  
そんなことしたら…。

お姫様…もう…  
元に戻らないわよ？



魔法は魔法をかけた  
本人しか解けない。

それくらい  
知ってますわよね？



つまり、あなたは  
私を殺すんじゃないか？

私にお願いしないと  
いけない…。






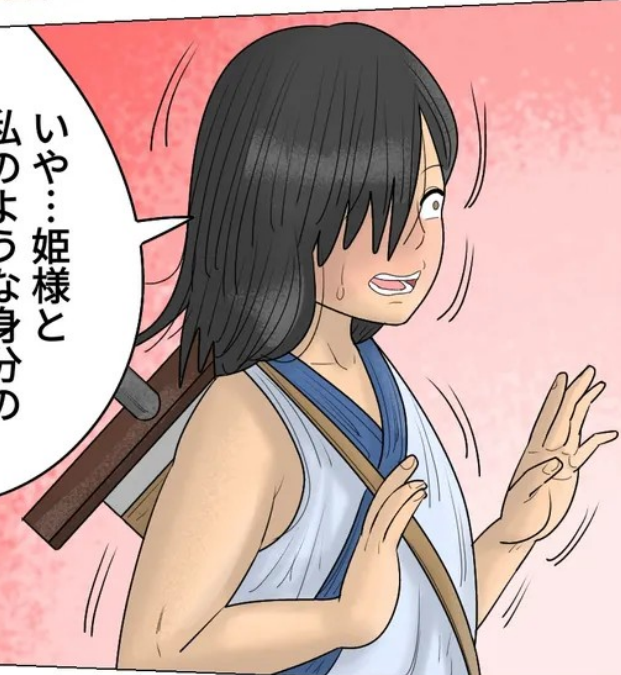
姫を戻して  
くださいとね…。




剣を捨てて  
裸で土下座しなさい。




私、大っきくなったら  
エイトのお嫁さんになる!!



いや…姫様と  
私のような身分の  
低いものが…  
結ばれるだなんて…。



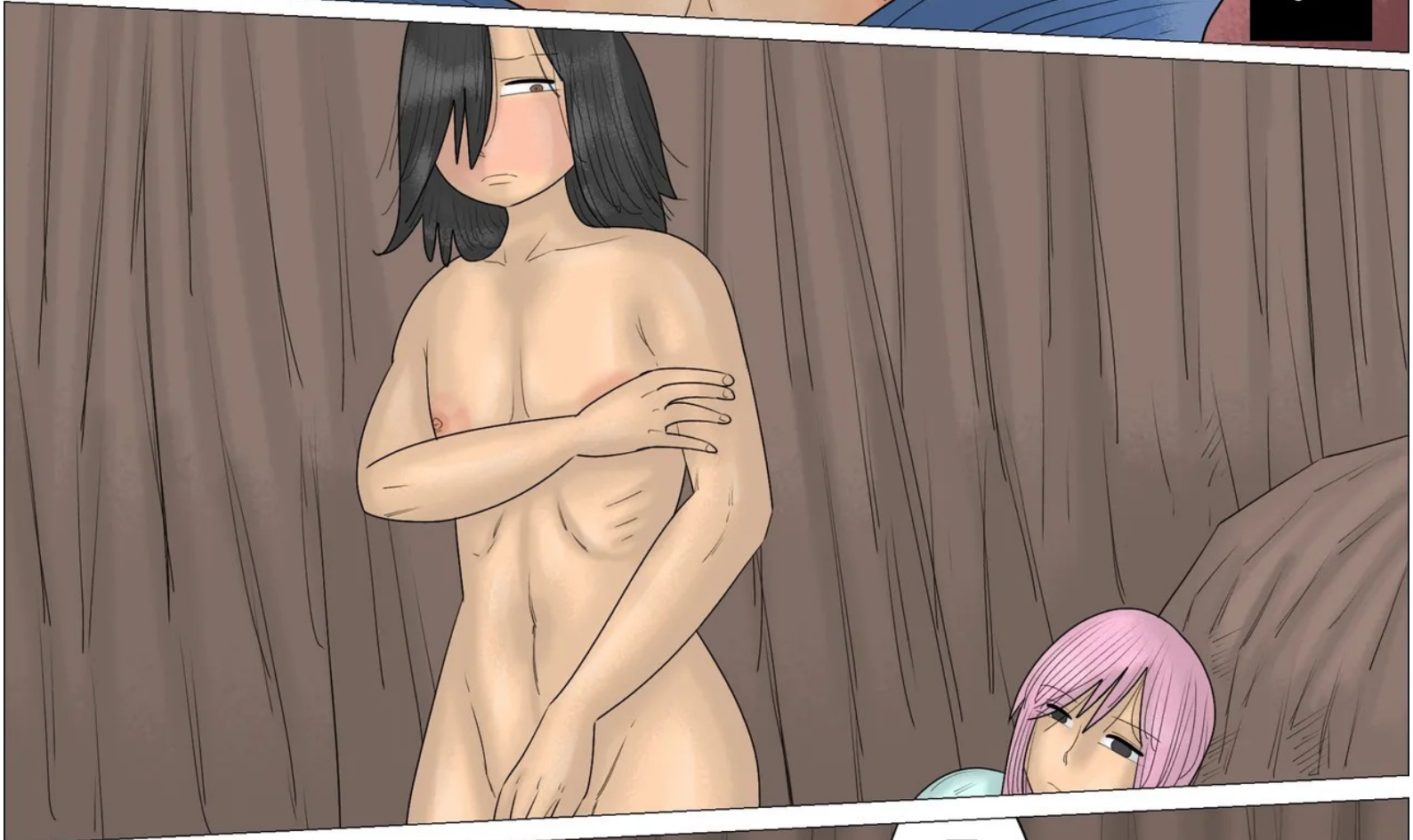
エイト…。  
一生…私のそばで…。  
私のこと守ってね…。  
ずっと…一緒に…。



はい…。姫を守るのが  
私の役目ですから…。

私の役目は…。  
姫を守ることだ…。

どんなことを  
しても…。



頼む…。  
姫を…。

元に戻してくれ…。



あらあら、誇り高き勇者が  
無様になったものね笑

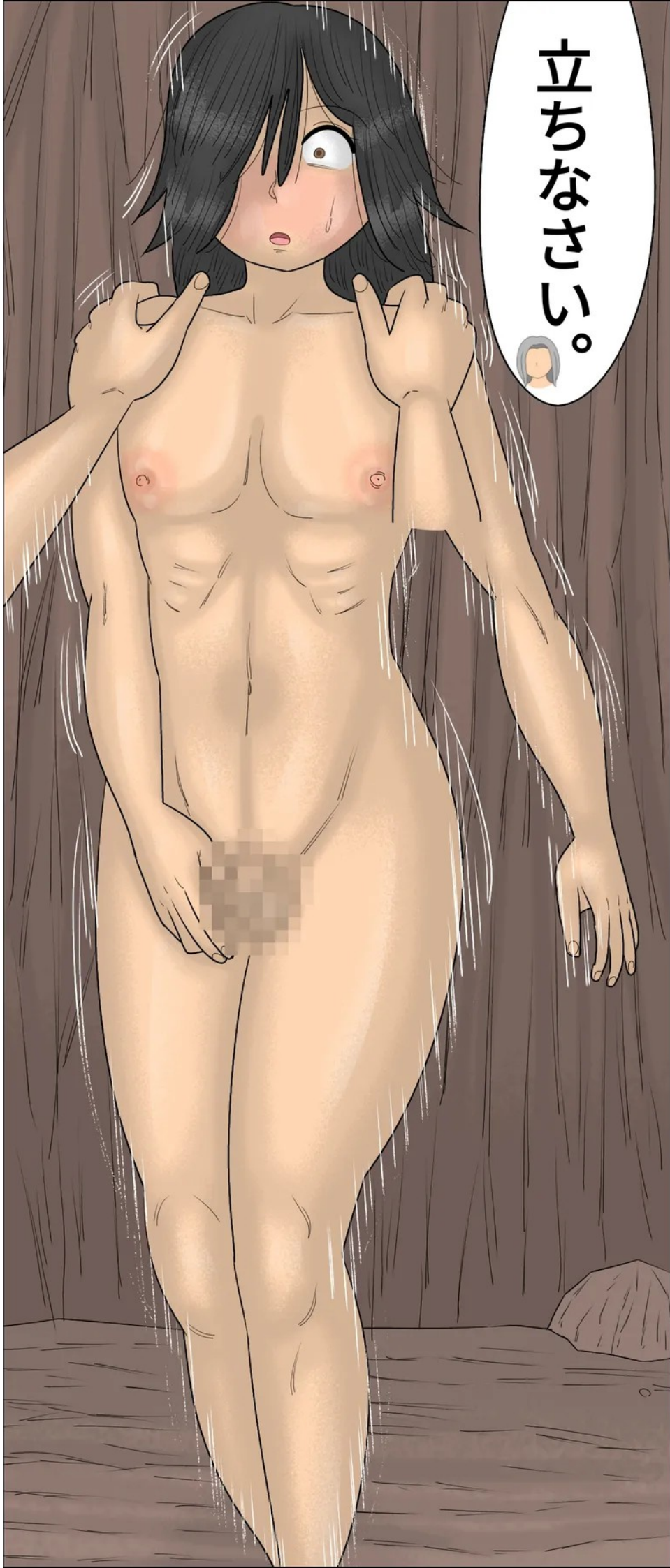
勇者だからどれほど  
立派なおちんちんかと  
思ったら…。

グ  
イ  
ツ

随分とちっちゃくて  
可愛いものを  
お持ちなのねえ〜笑

うるさいっ…。  
これでいいだろ…。

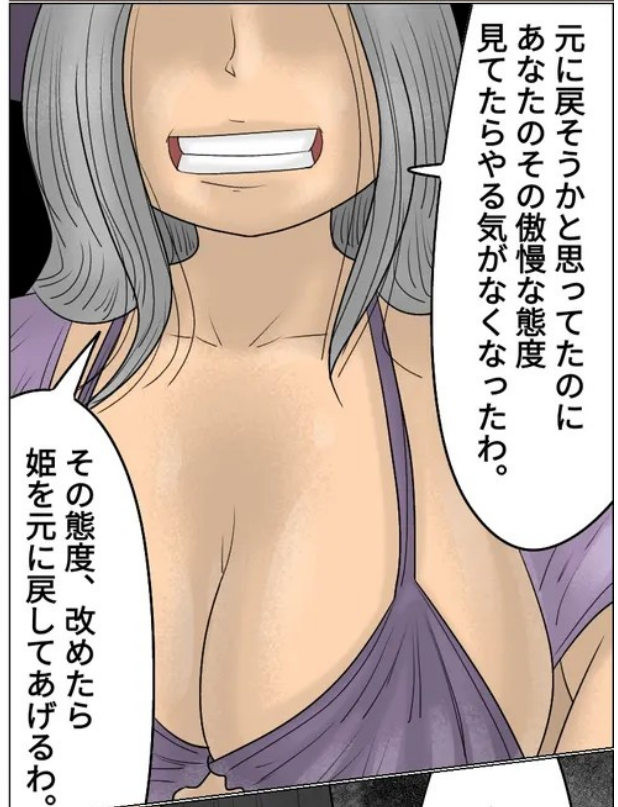
早く姫の魂を  
元に戻せ。



立ちなさい。



気が変わっちゃった笑

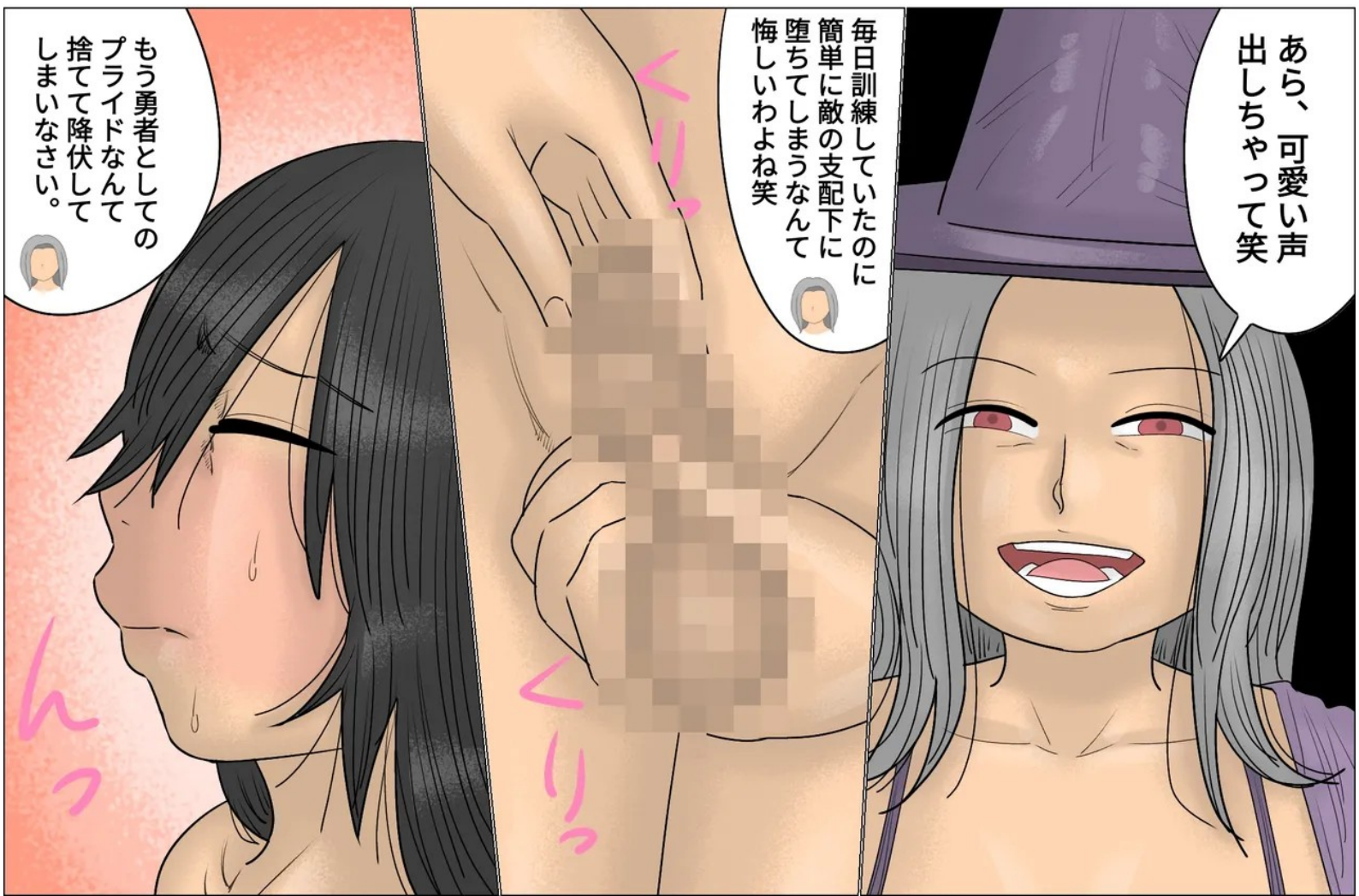


元に戻そうかと思ってたのに  
あなたのその傲慢な態度  
見てたらやる気がなくなったわ。

その態度、改めたら  
姫を元に戻してあげるわ。



くっ…。



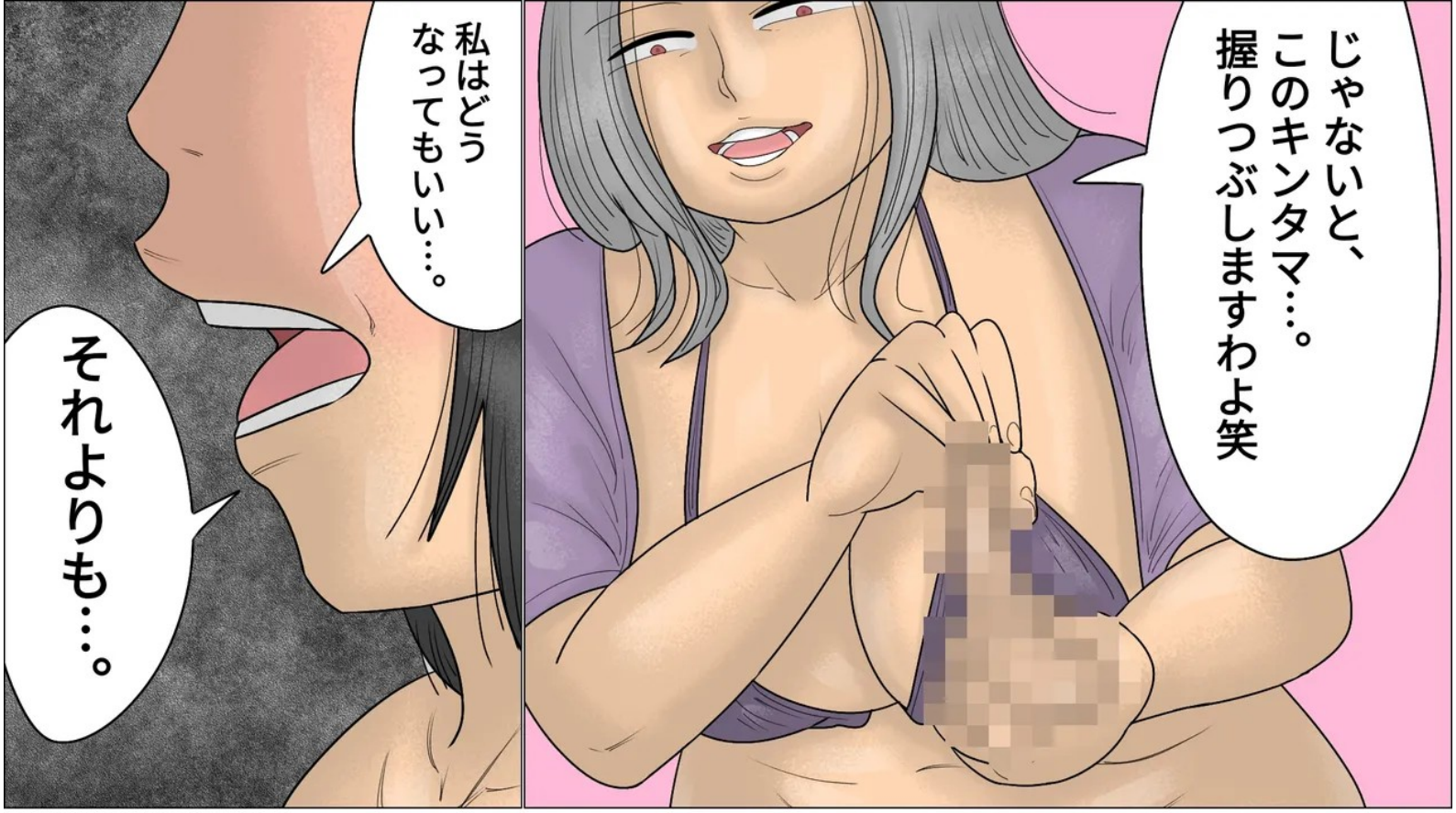
もう勇者としての  
プライドなんて  
捨てて降伏して  
しまいなさい。

毎日訓練していたのに  
簡単に敵の支配下に  
堕ちてしまうなんて  
悔しいわよね笑

あら、可愛い声  
出しちゃって笑

んっ

くっ



うふふ笑  
強い男の子の精神を  
ズタズタにするには  
金蹴りが一番  
効きますのよね。



あっはっはっはっ

うふふ笑、最高ですわね。  
股間を押さえながら  
痛みを我慢してる表情…笑



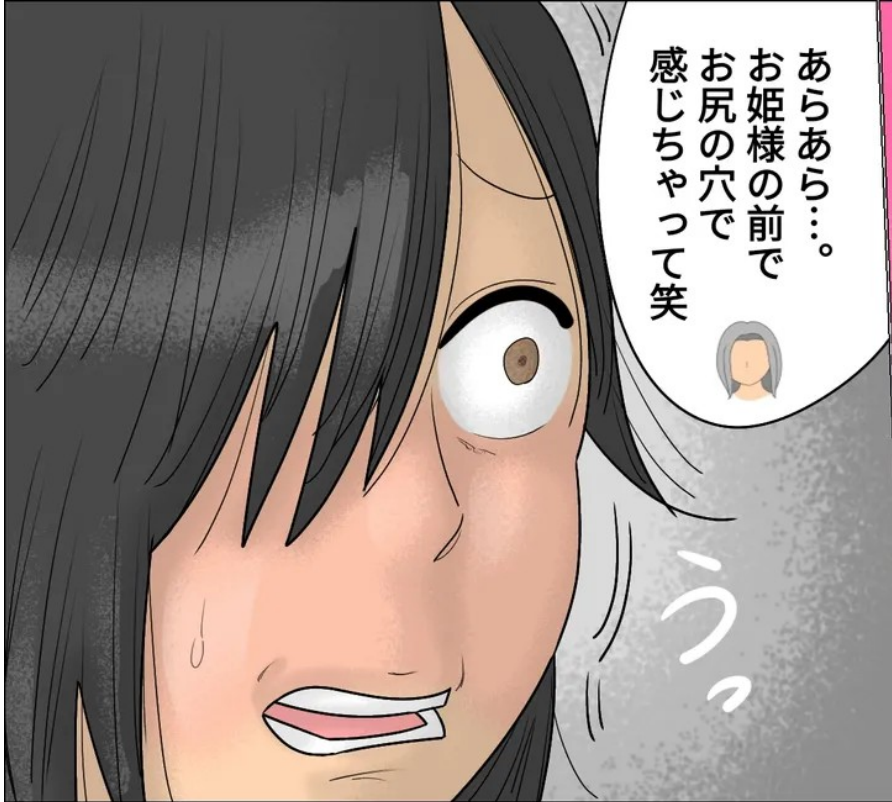
お姫様の前で  
私に逆らえないように  
してあげますわ笑

うっ…。  
どこ触って…。

動かないでね笑  
お姫様を助けるため  
ですわよ？笑



あっ



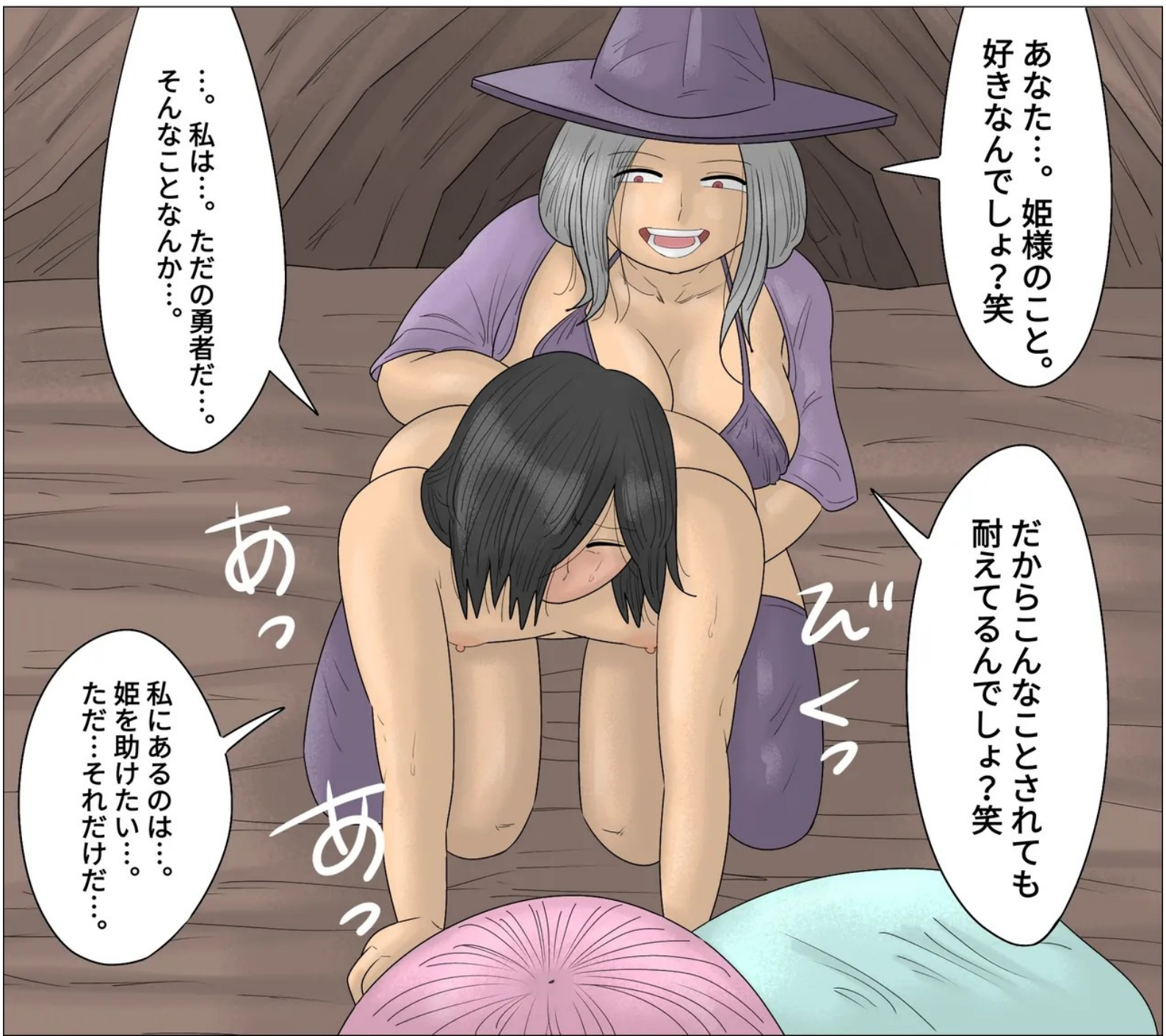
あらあら…。  
お姫様の前で  
お尻の穴で  
感じちゃって笑



うっ



えっ…。ちよっ…。  
何入れて…。あっ…。

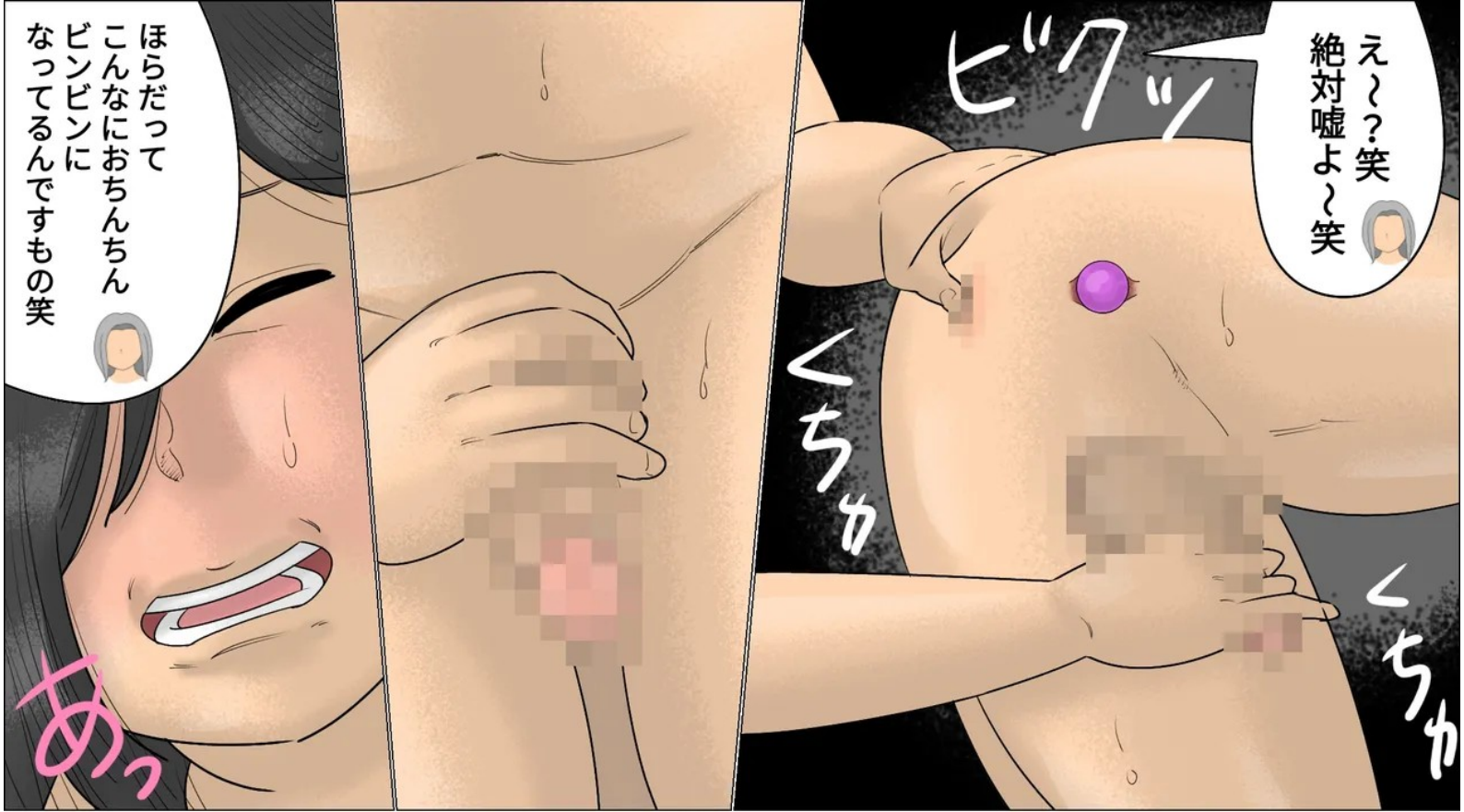


あなた…。姫様のこと。  
好きなんでしょ？笑

だからこんなことされても  
耐えてるんでしょ？笑

…。私は…。ただの勇者だ…。  
そんなことなんか…。

私にあるのは…。  
姫を助きたい…。  
ただ…それだけだ…。



えく？笑  
絶対嘘よく笑

ビクッ

くちゅ

くちゅ

ほらだって  
こんなにおちんちん  
ピンピンに  
なってるんですもの笑

あ



あなたは、姫を守る立場で  
ありながら、姫に恋愛感情を  
抱いてしまった…。

だから…今…。  
お姫様の前で別の女に  
襲われて興奮して…。

ビクッ

ビクッ

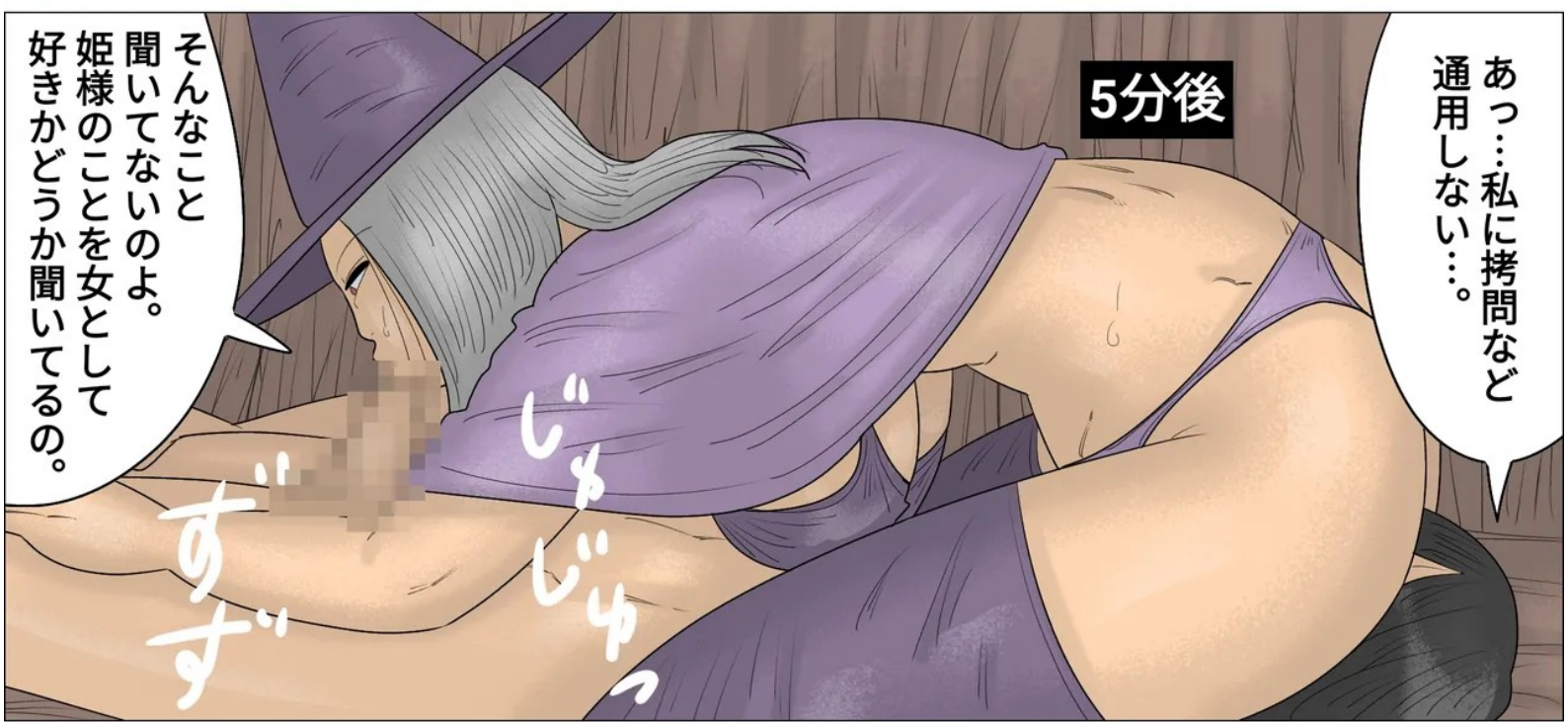
こんなにちんこ…。  
勃起させてるんでしょ？笑



違う…。  
私は…。ただ…。

認めないと  
おちんちんずっと  
なめちやいますから笑

あはあ

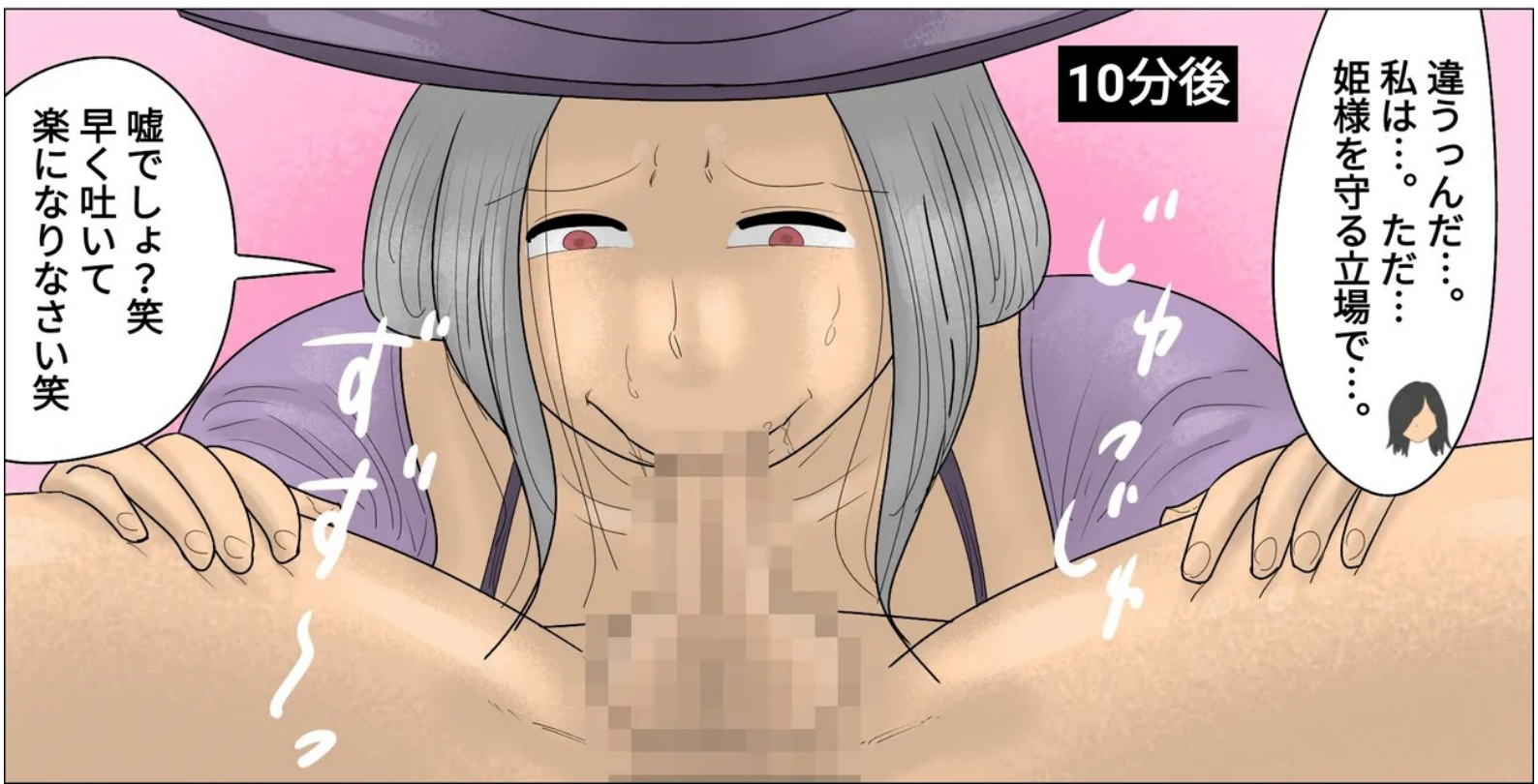


5分後

あつ…私に拷問など  
通用しない…。

そんなこと  
聞いてないのよ。  
姫様のことを女として  
好きかどうか聞いているの。

じゅじゅ



10分後

違うっつんだ…。  
私は…。ただ…。  
姫様を守る立場で…。

嘘でしょ？笑  
早く吐いて  
楽になりなさい笑

じゅじゅ

20分後

あゝあゝ

くっ……。

本当は姫様のことが  
女性として……。  
好きだったんだ……。

やっぱり  
そうでしたのね笑

姫を守るとか言っ  
て本当は姫様で  
えっちなこととか  
考えてたんですね笑

くちゅっ  
くちゅっ

ホント……。  
気持ち悪いですわ。

姫様……。

私はどんなに  
恥をかいてもいい……。

必ず姫様を……  
助ける……。

くちゅっ  
くちゅっ

くちゅっ  
くちゅっ

あつ…。さつきから  
体がおかしい…。

さつきお尻の穴から  
入れたのよ…。  
「惚れ薬」をね…。

魔女…。お前…。  
私に何をした…？

しゅわ  
しゅわ

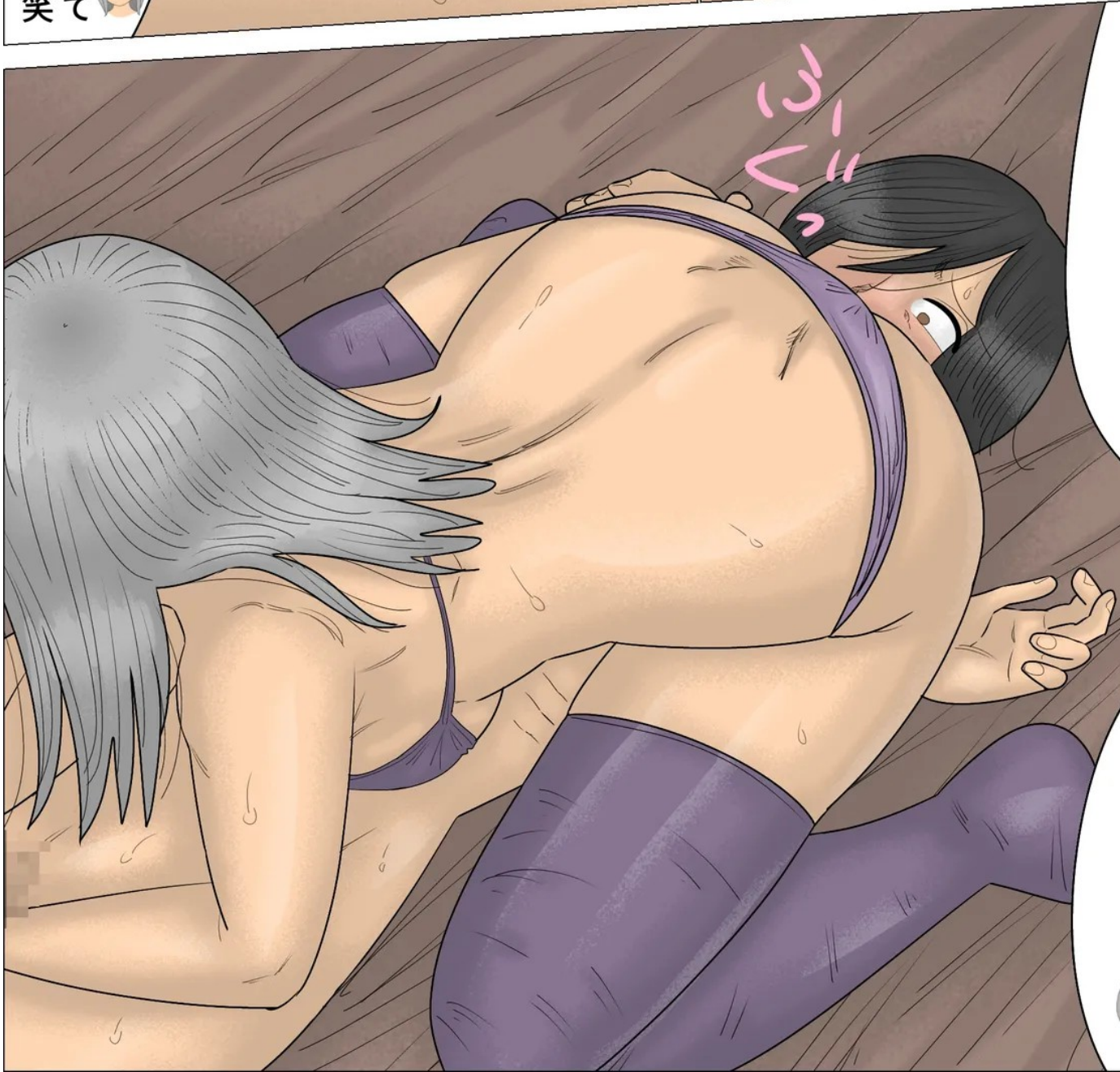
くちゅ  
ゅ

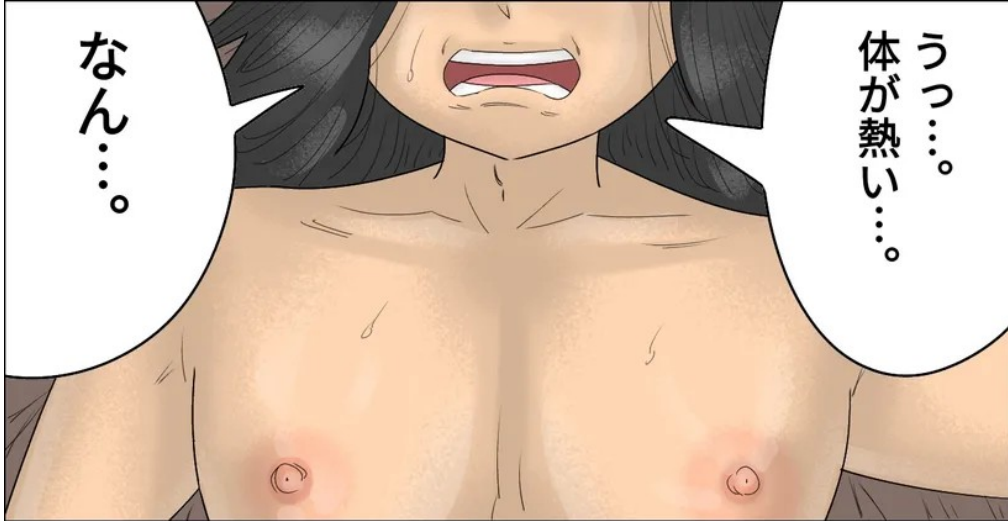
これを体内に入れると  
女性ホルモンが活発になって  
体が敏感になるんですよ笑

そして…。  
惚れ薬を与えた人を  
好きになっちゃいますの…。

い  
く  
つ

それまで愛していた  
恋人のことも  
忘れてね…笑





うっ…。  
体が熱い…。

なん…。



好きになる…？  
そういえば…  
さつきから…。

魔女…。  
お尻…。  
いい匂い…。

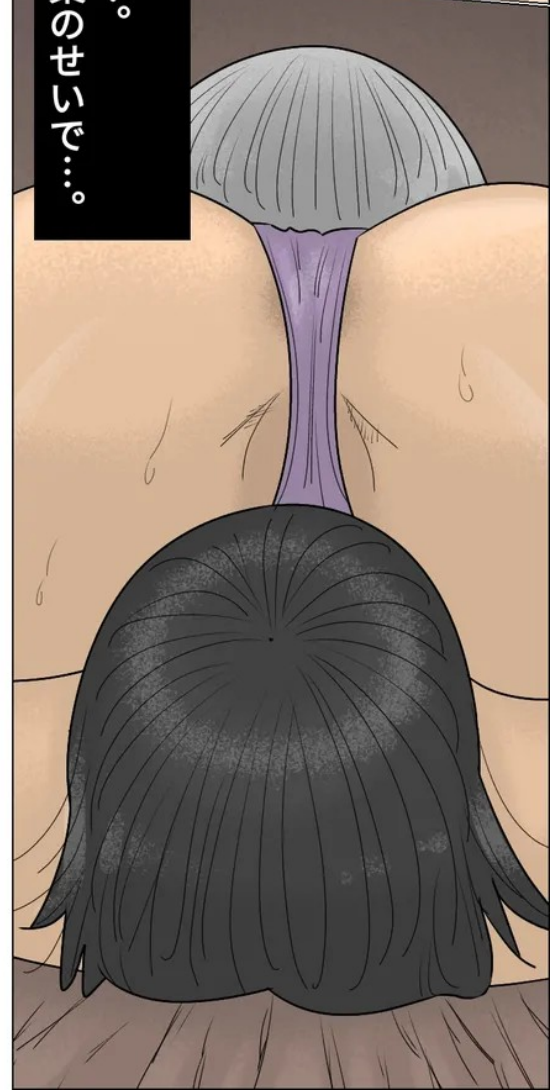


…  
!?

ぼっ  
いんっ



いや違う…。  
騙されるなっ…。  
これは…惚れ薬のせいだ…。



あ、そうそう…。  
ちなみに惚れ薬の影響で  
体が女性らしくなるのよ笑

恋する乙女って  
言うでしょ笑

あっ…くっ…。  
今すぐ治せっ…。

ん〜治すか治さないかは  
あなたの態度次第ですわ笑

言っておくけど  
これも魔法を  
かけた本人にしか  
治せない。

つまり、私にしか  
治せないのですわよ。

悔しいでしょう笑  
こんな恥ずかしい体に  
されて…笑

それじゃあ…。  
そろそろ…。

あっ

あっ



あなたの努力に免じて  
お姫様の魂を体に  
戻してあげようかしら笑

待て！まだいい…。  
戻すなっ！？

あら、遠慮  
しなくていいのよ。

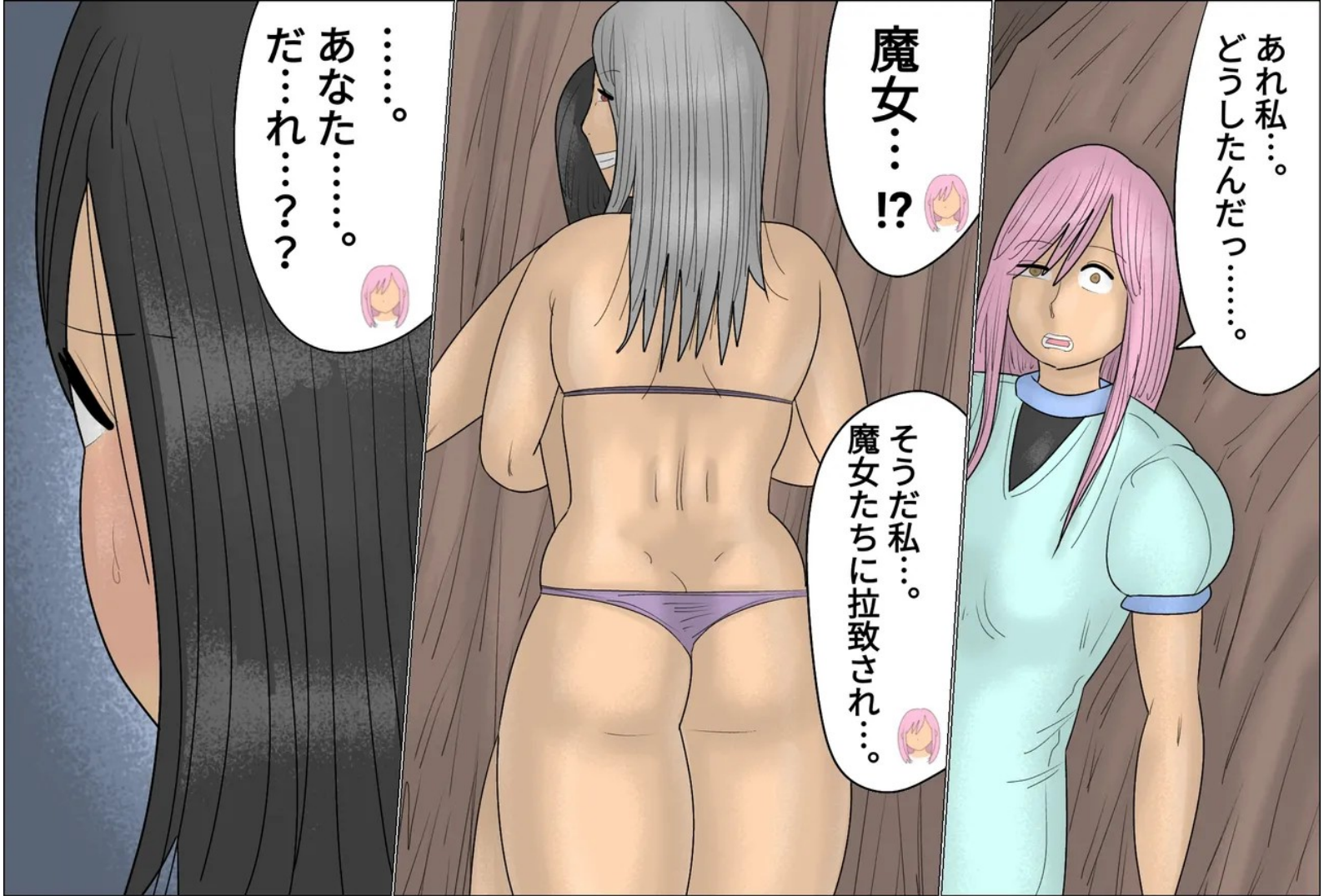
お姫様に見て  
もらいましょうよ。  
あなたのその…  
恥ずかしい体…笑

ひんっ

魂…。元の体に  
戻りなさい！？

ニム

はっ

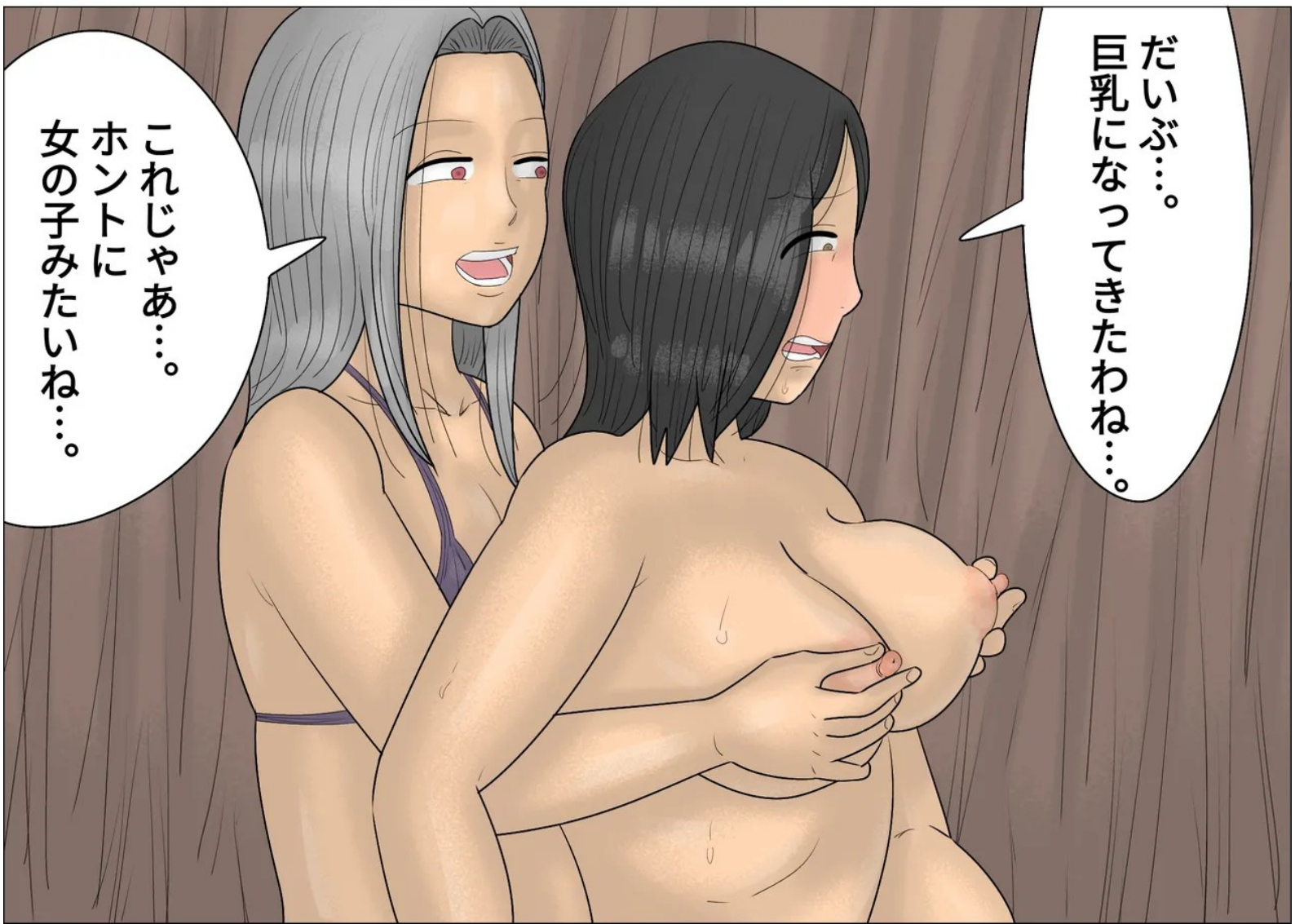


あれ私…。  
どうしたんだっ…。

魔女…!?

そうだ私…。  
魔女たちに拉致され…。

……。  
あなた……。  
だ…れ…???



だいぶ…。  
巨乳になってきたわね…。

これじゃあ…。  
ホントに  
女の子みたいね…。

ね…？  
勇者様…笑？

あなた…。  
エイト…なの…？



あーあ、  
バレちゃったー笑

ビクッ

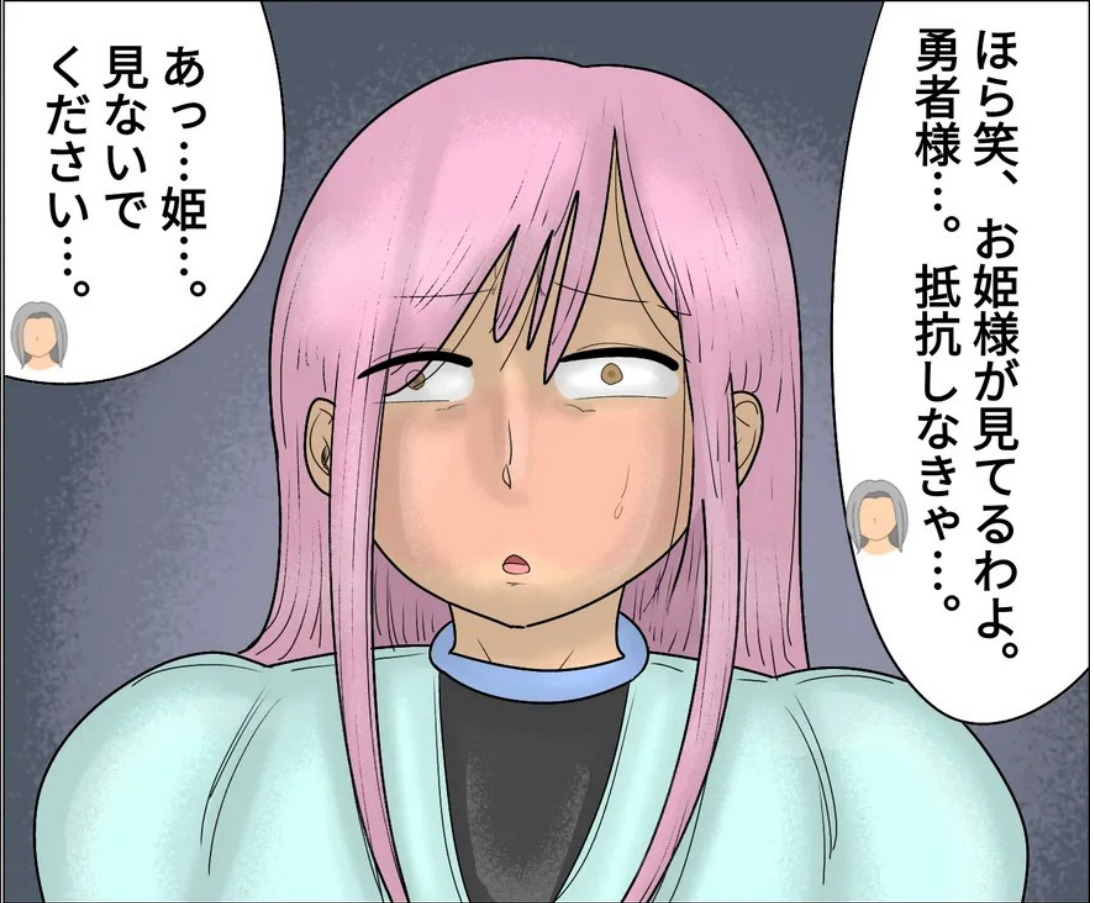
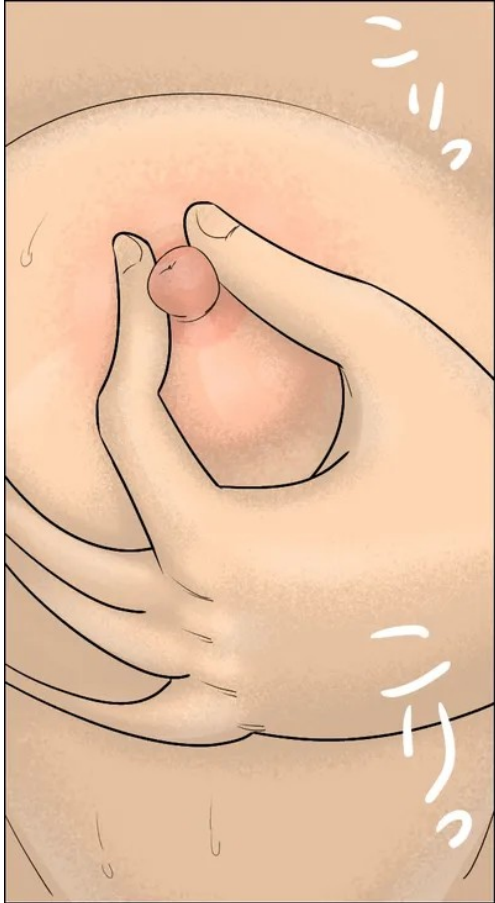
むにゃろ

今ね、魔法で上半身女の子に  
されちゃったのよねー笑

姫様に見てもらいましょよう笑  
強く誇り高い勇者が  
魔女に調教されてく姿を笑

ほら笑、お姫様が見てるわよ。  
勇者様…。抵抗しなきゃ…。

あっ…姫…。  
見ないで  
ください…。



ほらっ…。  
可愛いお尻をお姫様に  
見てもらいましょう笑

ほら姫様…。  
勇者様ったら、  
姫様の前で私のような  
魔女に弄ばれて  
興奮しちゃってますのよ笑

だってこんなに  
おちんちん  
大きくなってるん  
ですもの笑



やめろっ...  
魔女っ...。おのれっ...  
卑怯者めっ...。

勇者様ったら、  
お尻の穴、子供みたいで  
キレイな色ゝ笑  
可愛いゝ笑

どう？笑、姫様...。  
勇者様のこと強い男だと  
思ってたらしいと思いますけど...。

ちゅっ  
ちゅっ  
くちゅっ

こんな簡単に  
魔女に支配されるような  
弱っちい男の子なのよゝ笑

ほらっ...。暴れないで。  
言う事聞かないと  
元の体に戻してあげないわよ笑

くっ...。  
くっ...。  
くっ...。

あっ



でももう嫌いに  
なっちゃい  
ましたわよね？笑

だってこんな女の子みたいに  
喘いでる男の子なんて  
気持ち悪いでしょう？笑

ちがう…。  
エイトは…。  
いつも…。

皆のことを…。  
私の事を守ってくれる…。  
優しく強い…。

姫様っ…。

勇者…。  
なんだから…!?

ふーん。  
良かったですね。  
勇者様。

姫様がこれだけ  
言ってくれて  
るんですもの。  
我慢できますよね？笑



あと姫様、ちよっと  
おとなしく  
してくださいまし。

1分後

頑張って!! エイト...!!  
魔女なんかには負けないで!!



姫様のためですもの...  
射精我慢くらい  
できますよね？笑

姫様がこれだけ...  
言ってくれてる...

ええっ... もちろん...  
耐えて... あっみせます...



耐えねば...

2分後

エイト……。私のことはいいいから……。逃げて…!!



ほらっ……。勇者様、頑張って逃げないとおっ笑



あっ  
あっ  
くちゅっ  
くちゅっ

ひっ……。ひめさま……。あっ

はあ  
はあ

出しちゃダメだよ？勇者様。我慢、我慢、我慢、我慢……。

あっ……。だめっ……。我慢できない……。

あっ  
あっ  
くちゅっ  
くちゅっ

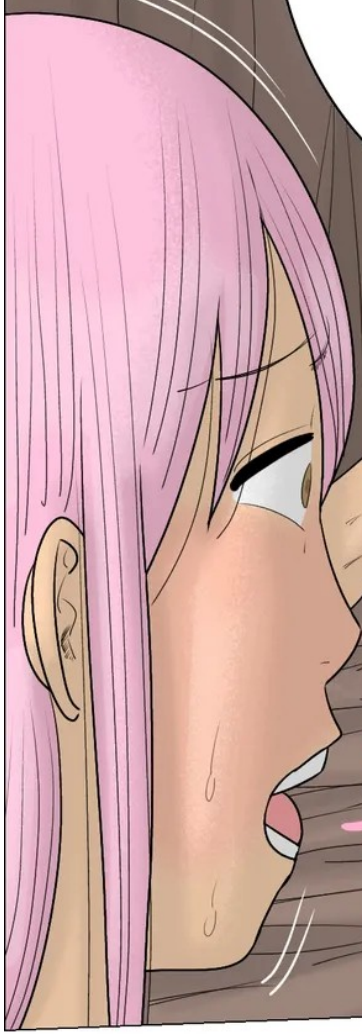
くちゅっ  
くちゅっ

くちゅっ  
くちゅっ

3分後

あっんっ……。

え、もう出ちゃったんですか？笑  
早すぎますよ、勇者様ったら笑



どっぴゅっ

あっ

はっ

びゅっ



あ

もう情けなさすぎですな笑  
よくそれで姫を守るとか  
偉そうに言っていましたね。

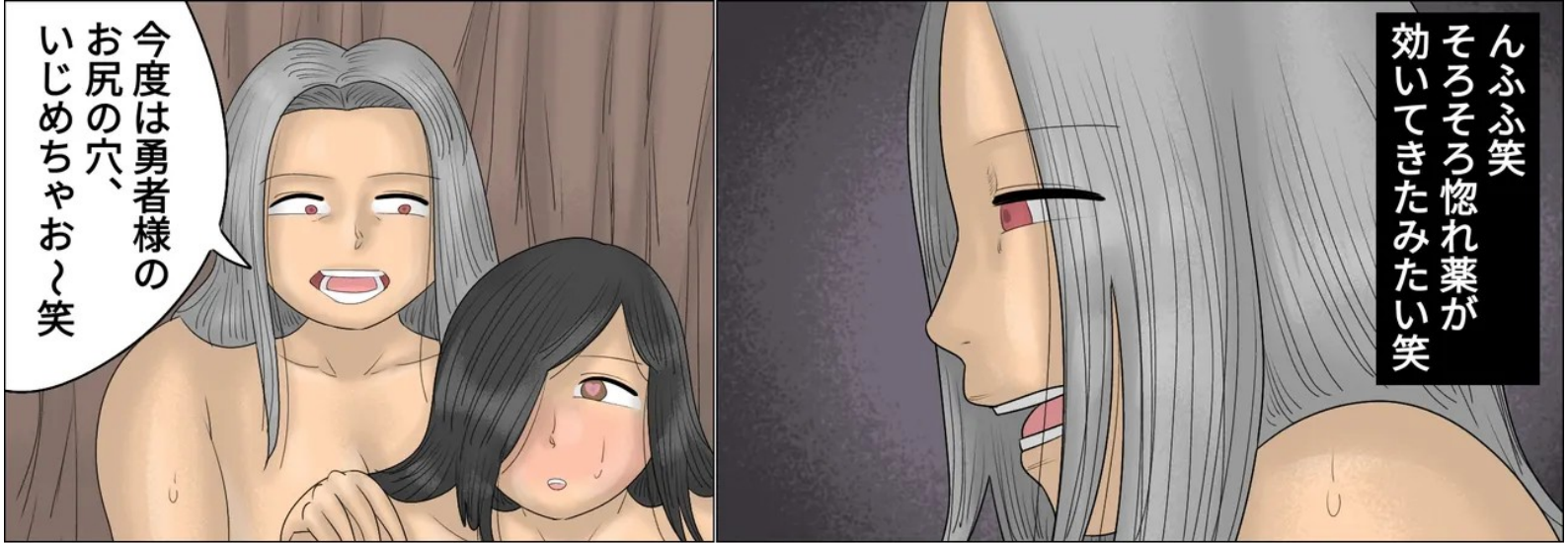
はあ



ハイト……。

んふふ笑  
そろそろ惚れ薬が  
効いてきたみたい笑

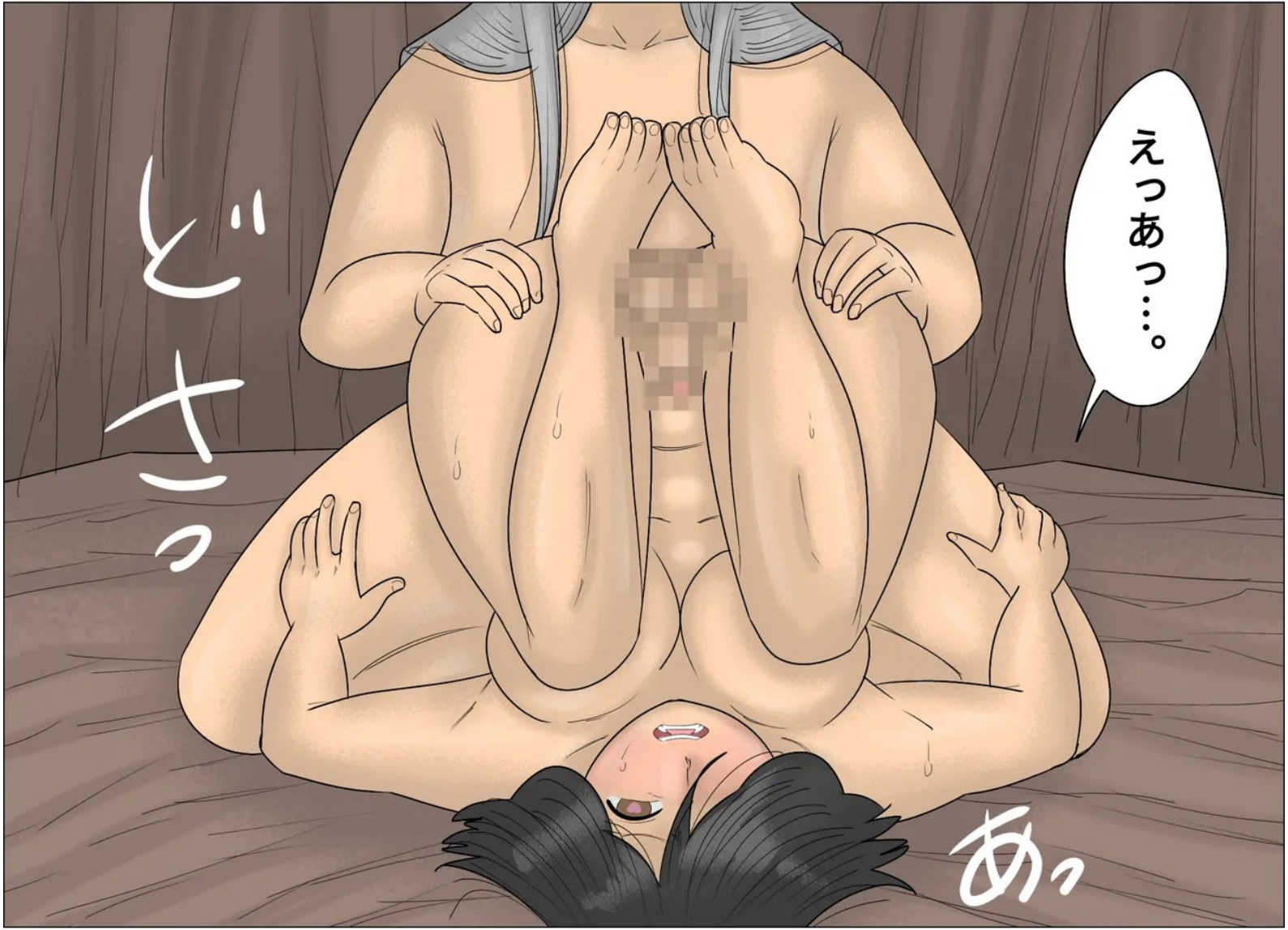
今度は勇者様のお尻の穴、いじめちゃおう笑



えっあつ…。

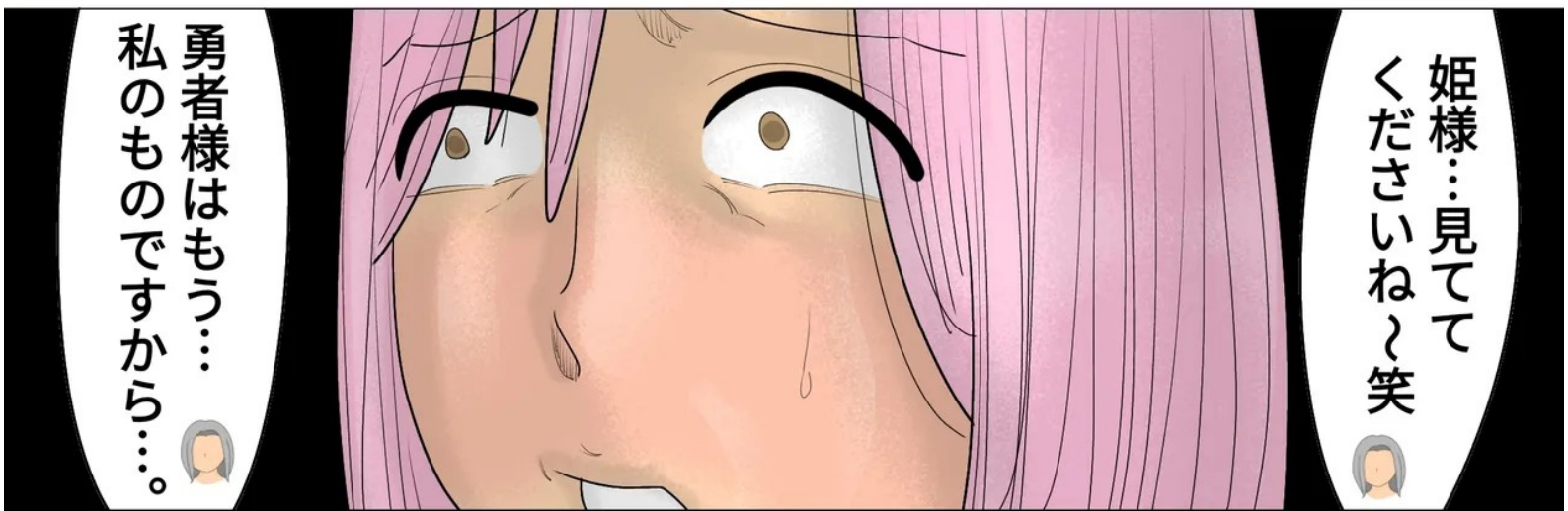
どしゃっ

あっ



姫様…見ててくださいね〜笑

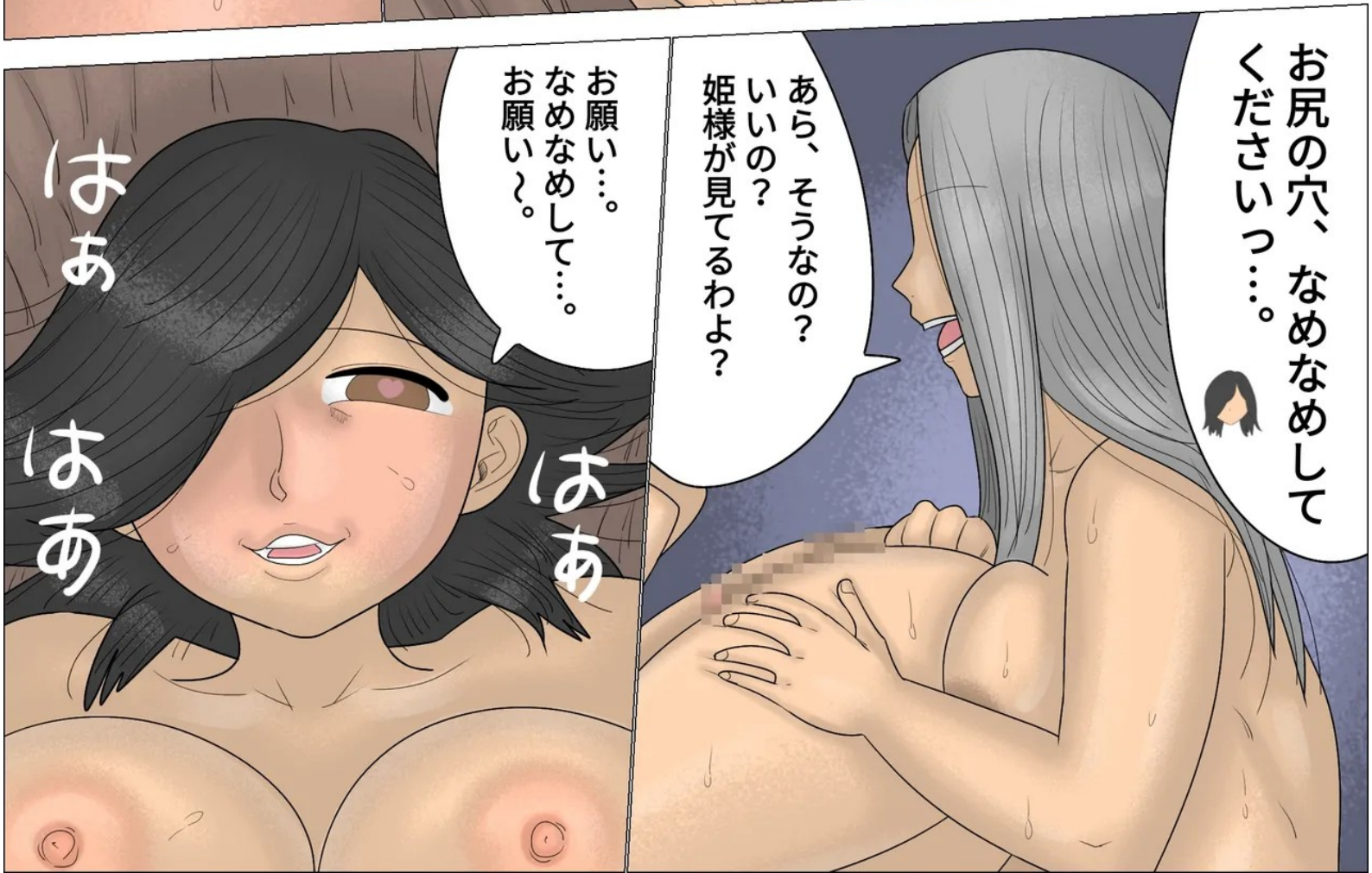
勇者様はもう…私のものですから…。





ああっ…アナルっ…。  
気持ち良いですっ…。

えっ……。



お尻の穴、なめなめして  
くださいっ…。

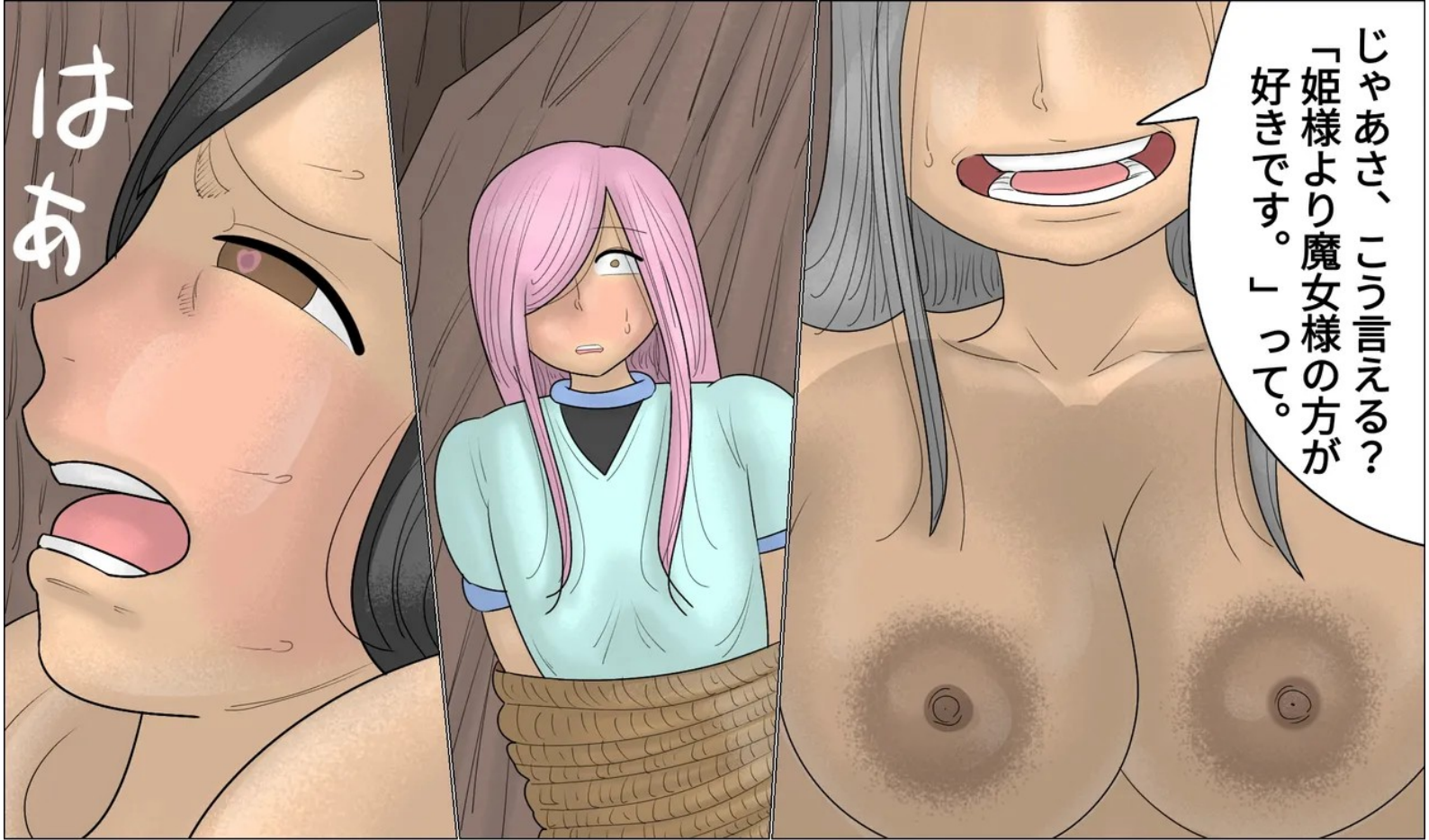
あら、そうなの？  
いいの？  
姫様が見てるわよ？

お願い…。  
なめなめして…。  
お願い？。

はあ

はあ

はあ



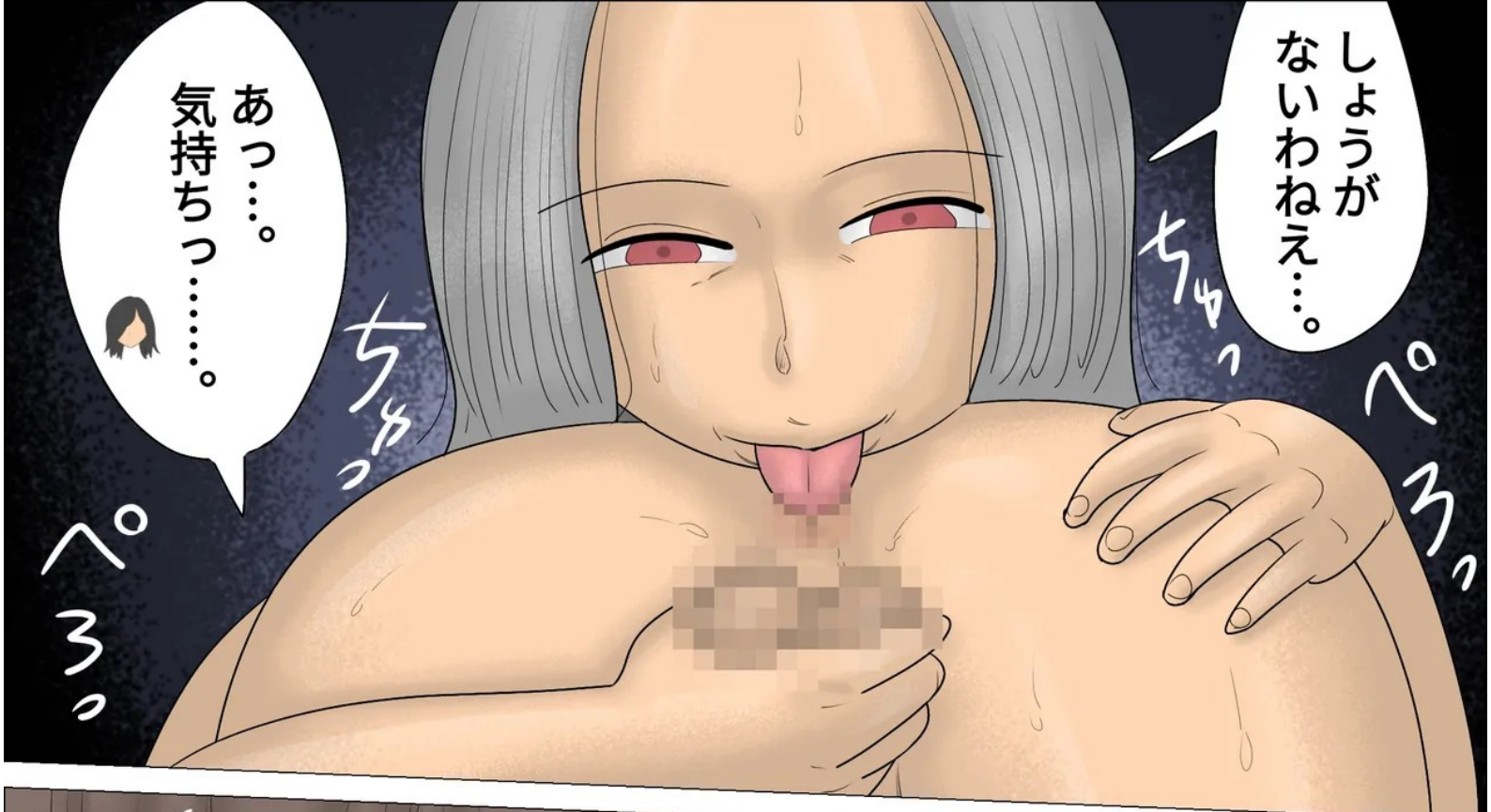
じゃあさ、こう言える？  
「姫様より魔女様の方が  
好きです。」って。

はあ



魔女様の方が  
好きですっ……！！

お願いっ……！！  
早くお尻の穴、  
なめなめしてっ……！！



しょうがないわねえ…。

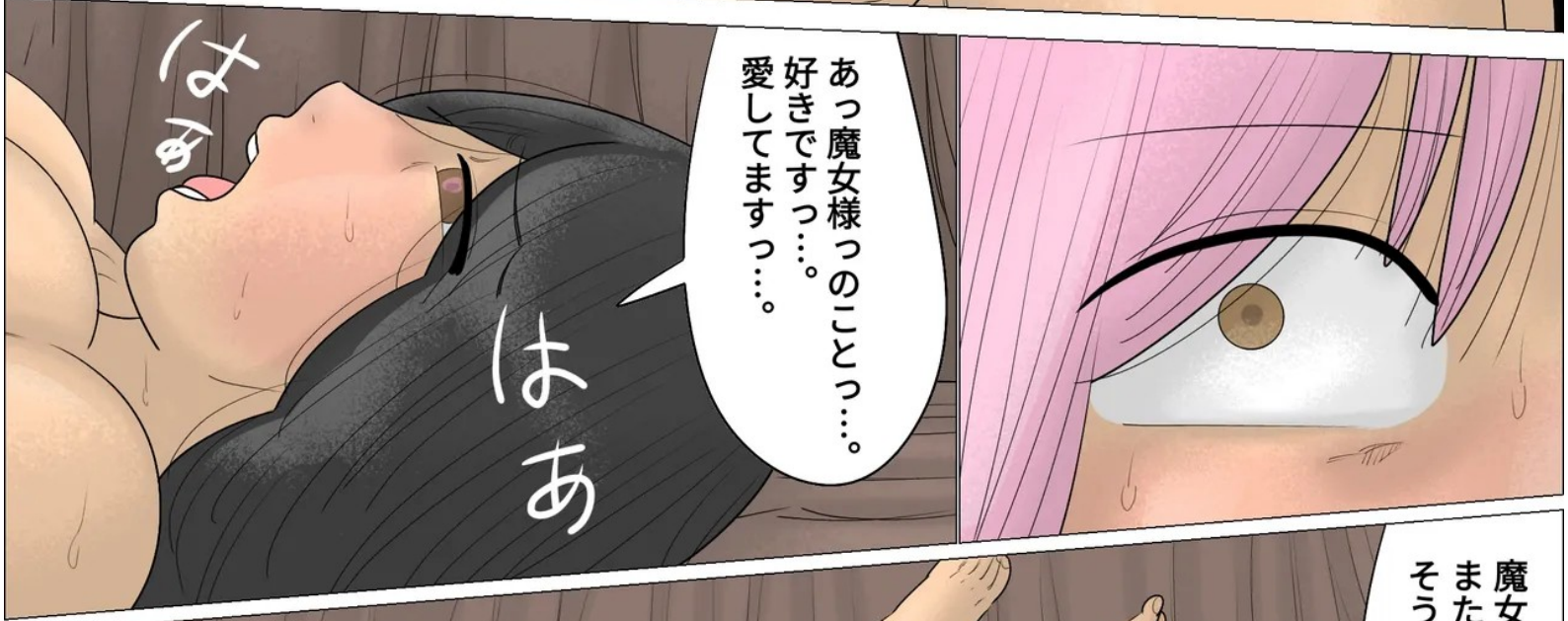
あっ…。  
気持ちっ…。

ぺろっ

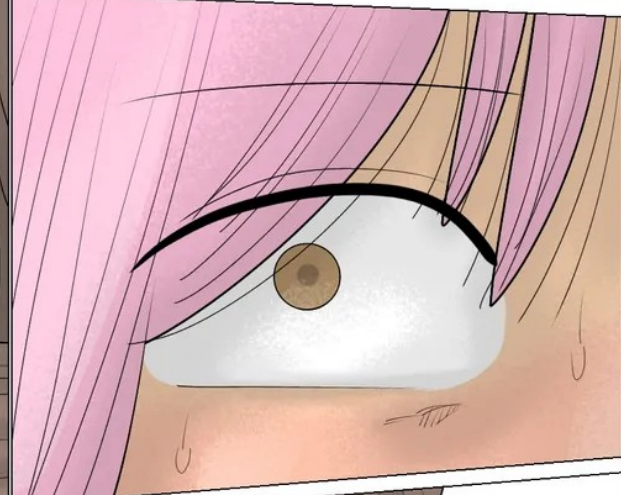
ちゅっ

ちゅっ

ぺろっ

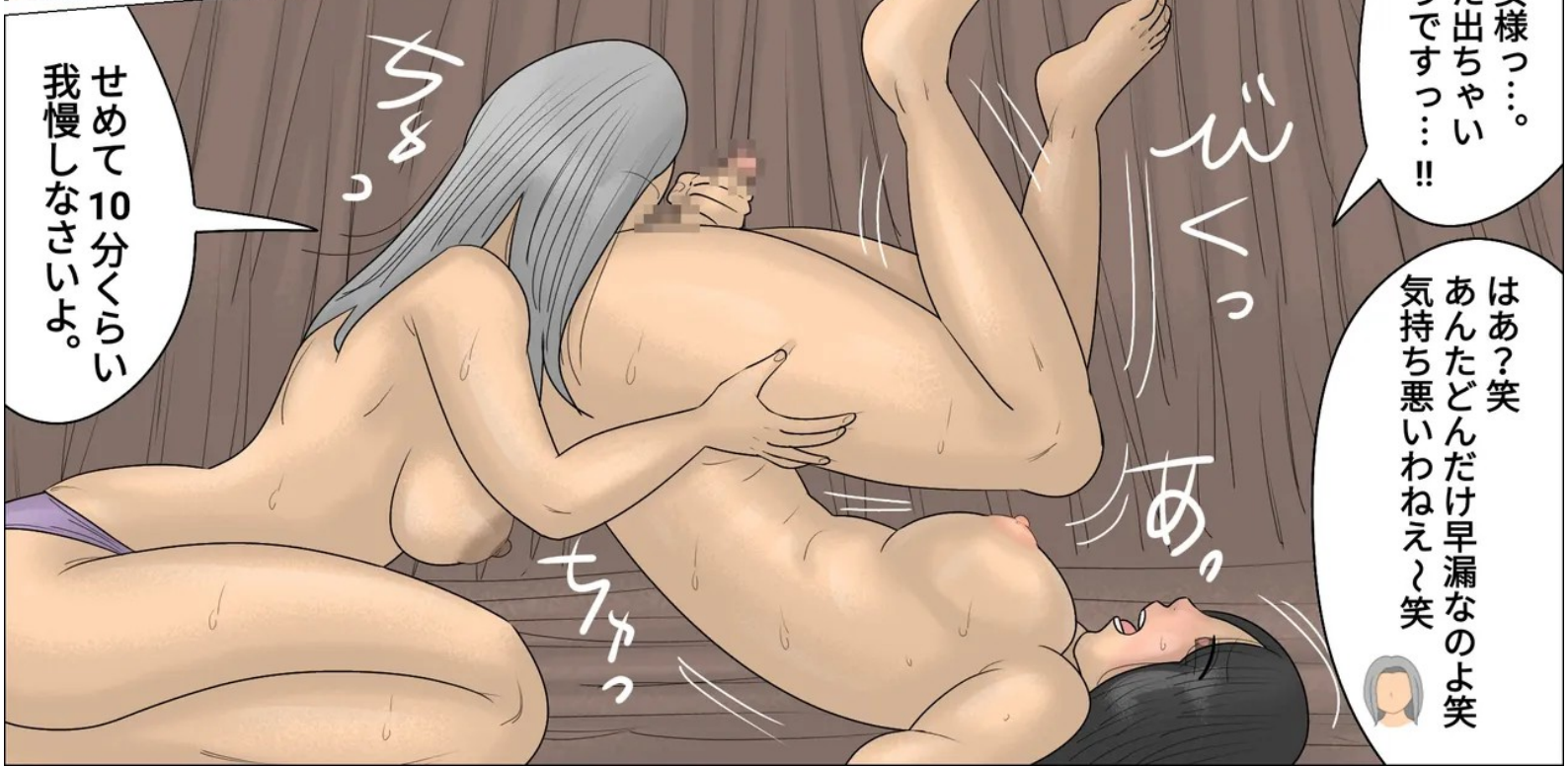


あつ魔女様っのことっ…  
好きですっ…。  
愛してますっ…。



はあ

はあ



魔女様っ…。  
また出ちやい  
そうですっ…!!

はあ？笑  
あんただんだけ早漏なのよ笑  
気持ち悪いわねえ笑

せめて10分くらい  
我慢しなさいよ。

ちゅっ

あっ

ちゅっ

ああっ…。  
我慢できない〜っ笑  
出ちやう〜笑



魔女様っ…。  
だいしゅき〜笑



ぴゅっ

しゅっ

しゅっ

ちゅっ

ちゅっ

うっ…。  
気持ち悪っ…。





これ、なめな?笑

はあ

はあ...。  
魔女様っ...。

はあ

はあ



どうです?笑  
姫様、勇者様を  
取られた気分。

どうせ、あなたが  
魔法でもかけたんでしょ。

じゅるっ

ちゅるっ

じゅるっ

じゅるっ

あはは笑  
バレちゃい  
ましたか笑



もうこのクソ勇者は、  
姫様を好きだったこと忘れて  
完全に私のこと愛してますよ笑



ちゅっ

ちゅっ

じゅっ

その人は、エイト…じゃ…。  
ありません…。



ちゅっ

んほっ

ちゅっ

ただの…  
ケダモノです…。

くっ…。

あはは笑  
勇者ったら、姫様にまで  
見捨てられちゃって笑

ざまく!! 笑

ちゅっ  
ちゅっ

それじゃあ、最後  
勇者様と  
アナルセックス  
しちゃいますね笑

どうぞ…。  
勝手にすれば？

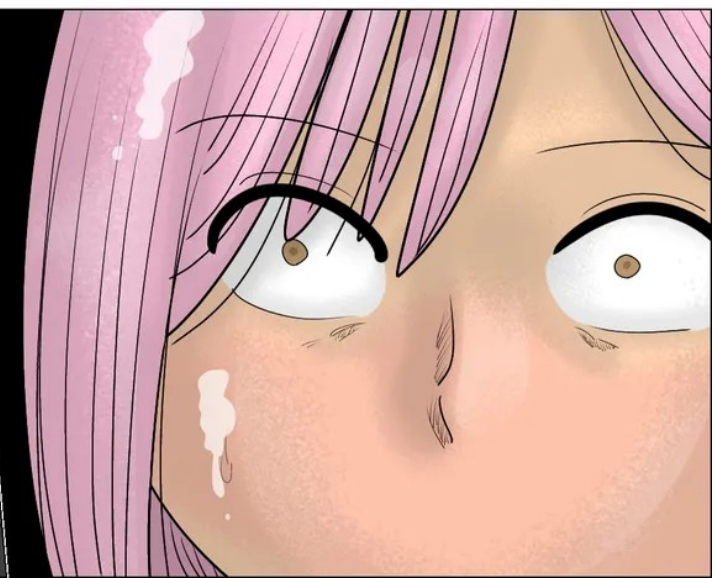
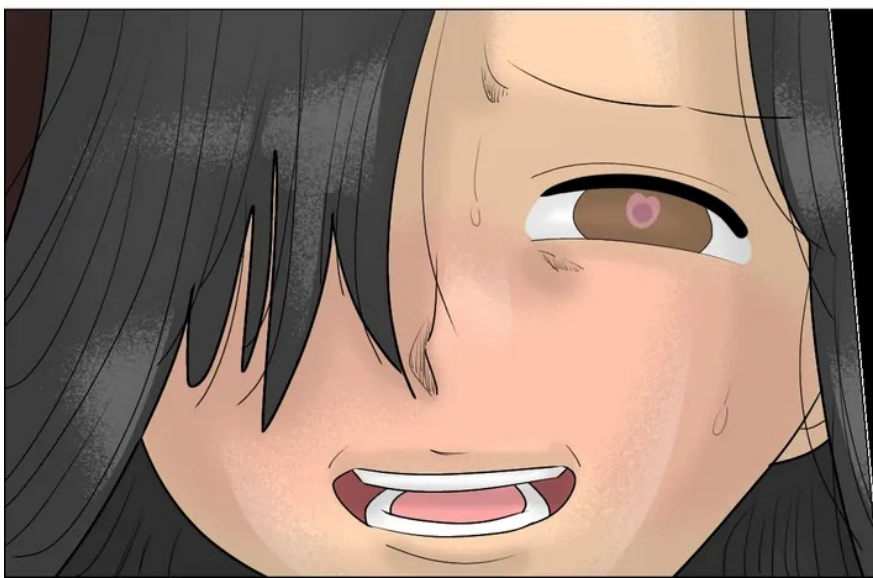
あんたのケツの穴…。  
最後にめちやくちやに  
オカすから…。

覚悟しなさいよ? 笑

あっ

ああっ…。やった笑  
早く入れてくださいっ…。

んっ



あんたのケツの穴、最高ね笑  
剣士よりも、性奴隷の方が  
お似合いよ笑

はあ

はあ

ありがとうございます…  
ごじやいますっ…笑

ぽん

ぽんっ  
ぽんっ

ぽん  
ぽんっ

ねえ、恥ずかしくないの？  
姫様ずつと見てるわよ？

え…？  
姫様って…  
誰ですか…？

はあ  
あらもう完全に  
記憶からも  
消えちゃったの？笑

はあ

あっ

ぽんっ



それじゃあ、魔法解いて、記憶を戻してあげるわ笑

ほあ

ぽちゅ

えっ

えっ……私……あつ……

なんで……何やってる……離せっあつ……

あ

あ

ぽんっ  
ぽんっ

いっやっ……あつ……これは……どっいっ……



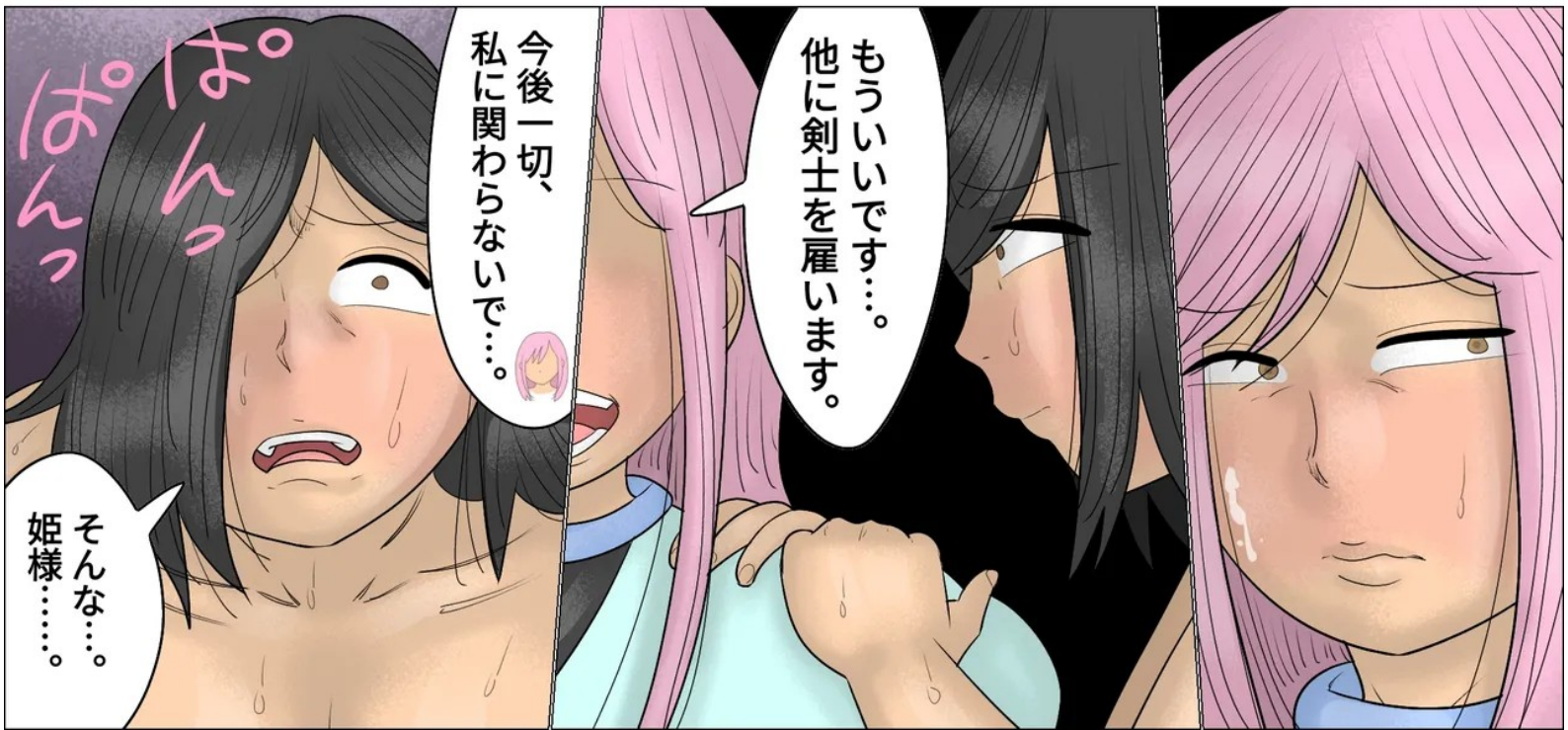


ああっ、勇者様のケツの穴、超気持ちいですわ〜笑



姫様とセックスしたかったんでしようけど、私が先にアナル処女奪っちゃいました笑  
ごめんなさいねえ〜笑  
いただいちゅってえ〜笑

あっあっ…。今すぐやめろっ…。  
離せっ…。  

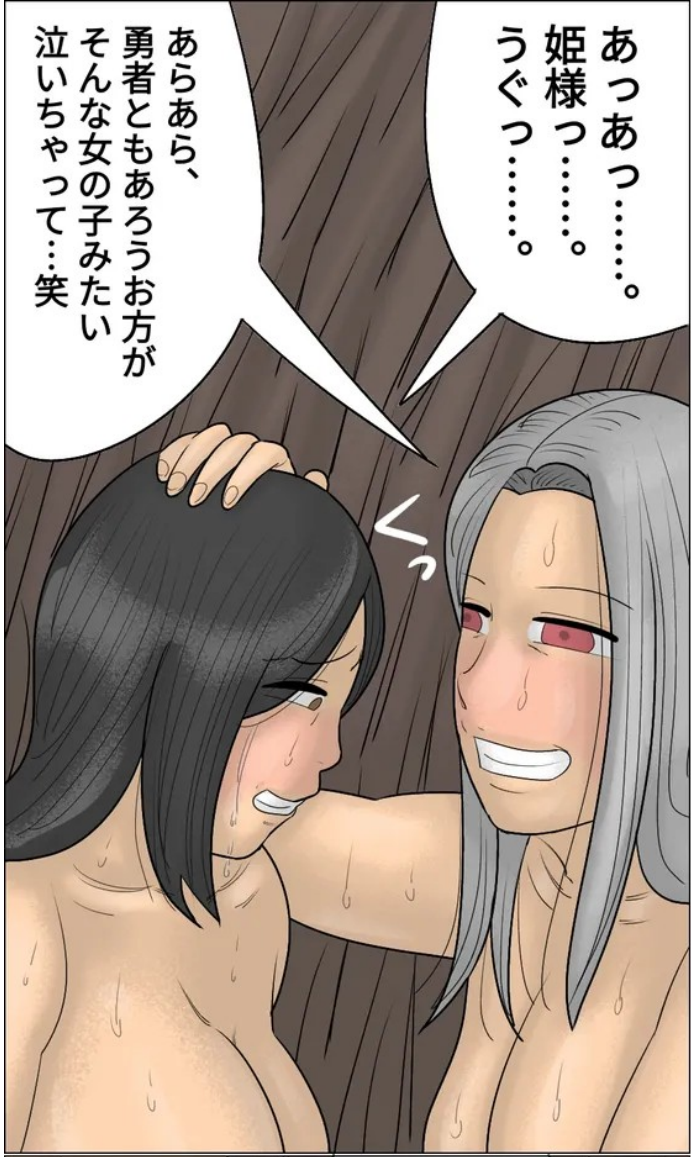
んふふ笑  
好きじゃない女に襲われて  
好きだった姫様に見捨てられて…。

私、人間のそついうと「  
大好きよ笑



あっあっ……。  
姫様っ……。  
うぐっ……。

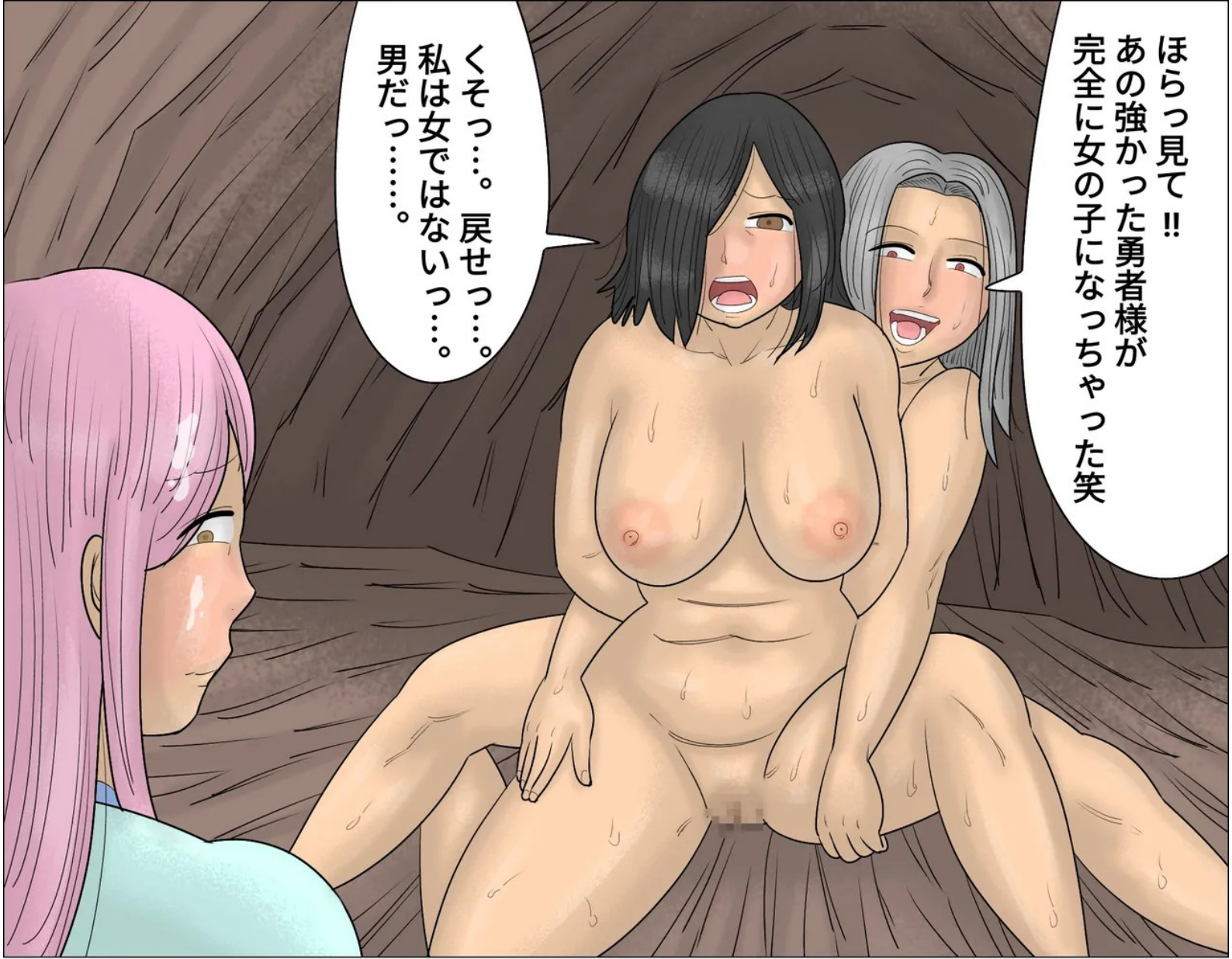
あらあら、  
勇者ともあろうお方が  
そんな女の子みたい  
泣いちゃって…笑



そんな女の子みたいに  
弱っちいなら  
おちんちんも  
いらないですね笑

ポワンッ





ほらっ見て!!  
あの強かった勇者様が  
完全に女の子になっちゃった笑

くそっ。。。戻せっ。。。  
私は女ではないっ。。。  
男だっ。。。。



何言ってるの?  
ほらっ、おちんちん  
ついてないじゃない笑

魔法をかけたものにしか  
その魔法は解けない。

あっ

ぬるっ

つまり、私は魔法を  
解かないからあなたはもう  
ずっと女の子のままなのよ笑

あつ……。  
やめろっ……。  
ぼいんっ

助けて……。  
んあつ姫様っ……。  
あっ  
あっ

ぼいんっ  
ぼいんっ

頼むっ……。  
元の体に戻してくれ……。  
お願いだっ……。

だーめっ……。  
あなたはもう  
女の子なんだから。

ずっと私の  
性奴隷よ笑

すちゅっ  
すちゅっ

おちんちんもついてないから、  
姫様を守ることもできて、  
姫様と結ばれることもでき  
ないのよ笑



同人誌のご購入、  
ありがとうございます。  
これからも、逆ニコエ作品  
発売していきます。  
感想等、コメントしてくれたら  
嬉しいです。

ピクシブ、ツイッターで  
イラスト投稿してます。  
ユーチューブで同人誌についての  
動画も出してます。  
フォロワー、お願いします。

原作ぺんちやぺん

